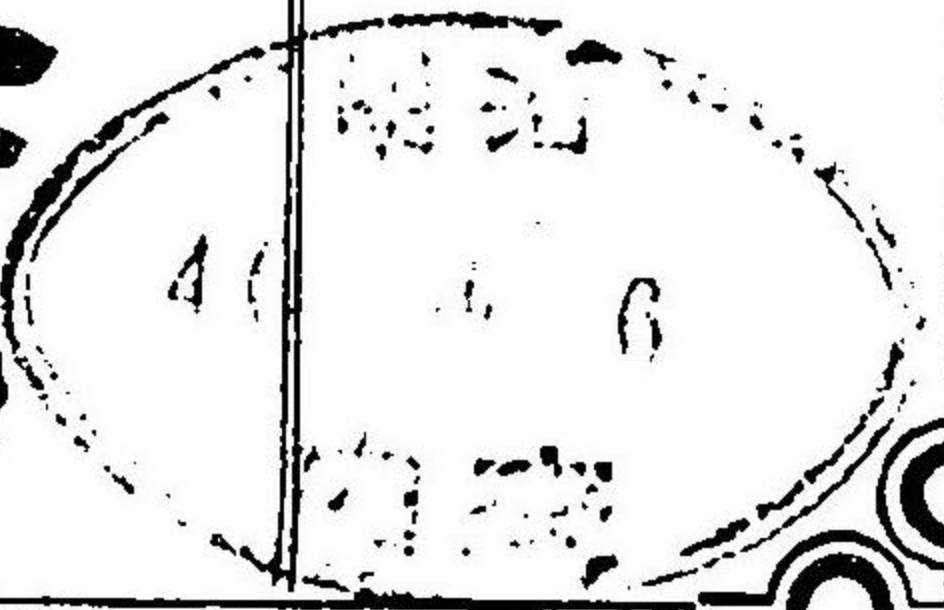


94-432

獸醫 金澤常勇著

家畜內科類症鑑別

東京 有隣堂發兌



序 言

内科獸醫ノ妙技ハ臨床診斷ノ的確スルニアリ是レ内科病診斷上最モ緊要ノ事項ニシテ又難事タリ之レカ的確ノ診斷ヲ下スニ往々類症ノタメ誤診ヲ招クユト少ナカラス吾等獸醫ハ病獸診斷ニ當リ人醫ノ如ク問診ヲ用ユル能ハス自覺症候ナキ動物ニ向テ的確ノ内科診斷ヲ下スハ難中ノ難事ニシテ療病上最モ緊要ノ事タリ

余ハ誤診ヲ正シ臨床診斷ノ的確ヲ望マンカタメ本書ヲ著述ス固トヨリ博學ノ士ノ視ルヘキモノニ非ラヌ斯學修業者及地方開業獸醫諸氏ノ參考トモナラハ余

ノ幸之レニ加カス乞フ高閣ノ諸君ヨ幸ヒニ誤謬杜撰
ノ點アラハ高教ヲ惜マサランユトヲ希望ス

明治參拾九年十二月

於北越ノ宿舍

著者識

凡例

- 一 本書ハ最モ簡明ヲ旨トシタレハ日常多發スル疾病ニ就テ詳述シ各
自同類ノ鑑別ハ何レニカ一方ニ於テ論述ス
- 一 誤診ノ恐レナキ特異ノ徵候アル疾病ハ記述セス
- 一 術語及病名ハ先例ニ倣フ
- 一 傳染病ニ於テハ細菌學的鑑別ハ省畧シ臨床上及剖檢上ノ鑑別ヲノ
ミ記述セリ
- 一 運動器病ハ內科ニ屬スルモノ、ミ二三ヲ掲ケ他ハ外科學ニ讓リ之
レヲ省畧セリ
- 一 寄生蟲、產科、眼科、蹄病等ニ關スル疾病ニ就テハ既ニ專問ノ學科ア
ルヲ以テ記載セス
- 一 本書ハ内外諸大家ノ著書ヲ參考トナシ自家在校中ノ實驗及開業以
來ノ經驗ヲ加ヘテ編纂シ在學中ノ筆記及備忘錄ヲ基礎トセリ

家畜內科類症鑑別

目次

緒論	一
第壹編 傳染病	二
一 牛痘	二
二 炭疽	四
(1) 牛ノ炭疽	五
(2) 馬ノ炭疽	六
(3) 羊山羊ノ炭疽	六
三 氣腫疽	六
四 皮鼻疽	七
五 傳染性胸膜肺炎	二
六 流行性驚口瘡	三
七 羊痘	三
八 豚虎列拉	四
九 豚羅斯疫	四

目次

一

一〇	狂犬病	一五
一一	假性皮疽	一六
一二	惡性水腫	二二
一三	血斑病	二三
一四	腺瘰	二三
一五	犬瘟熱	二三
一六	牛ノ惡性加答兒熱	二四
一七	幼獸赤痢	二五
一八	成獸赤痢	二五
一九	家禽虎列拉	二六
二〇	野獸疫	二七
二一	固有ノ流行性感胃	二八
二二	傳染性胸膜肺炎	三〇
二三	牛ノ流行性感胃	三〇
二四	結核症	三三
	(1) 牛ノ結核	三三
	(2) 馬ノ結核	三四

二五	波線菌病	三四
二六	馬ノ傳染性膿疱口炎	三四
二七	強直症	三四
二八	媾疫	三五
二九	媾疹	三五
三〇	鷺口瘡	四六
三一	實扶的里	四六
三二	てきさす熱	四六
三三	亞布利加馬疫	四七
三四	間歇熱	四七
三五	猖紅熱	四七
三六	回歸熱	四七
三七	黃熱	四七
三八	へすと	四七

第貳編

一	體質病	四〇
二	貧血及萎黃症	四〇
三	惡性貧血	四〇
四	白血病	四〇
五	假性白血病	四〇
六	尿酸性關節炎	四〇
七	糖尿病	四〇
八	水血病	四〇
九	血友病	四〇
〇	失荷兒陪屈	四〇
一	單尿崩	四〇
二	肥胖	四〇
三	瘦削	四〇
四	肉腫及癌腫病	四〇
五	神經系病	四〇
六	腦充血	四〇
七	腦出血	四〇

第參編

一	腦炎	四四
二	日射及熱射病	四四
三	腦脊椎膜炎	四五
四	脊椎炎及脊椎膜炎	四五
五	脊椎ノ壓迫麻痺	四五
六	脊椎勞	四五
七	癩病	四五
八	急癩	四五
九	呼吸器病	四六
〇	鼻加答兒	四六
一	鼻粘膜ノ劇性炎	四六
二	鼻腔新生物及寄生蟲	四六
三	鼻腔出血	四六
四	慢性喉嚨加答兒	四六
五	急性喉嚨加答兒	四六
六	最急性喉嚨炎	四六
七	喘鳴症	四六
八	喘鳴症	四六

第四編

九	氣管支加答兒	三三
〇	氣管支炎	三三
一	肺充血及肺水腫	三三
二	肺出血	三三
三	馬ノ格魯布性肺炎	三三
四	牛ノ格魯布性肺炎	三三
五	加答兒性肺炎	三三
六	異物性肺炎	三三
七	肺氣腫	三三
八	息勞	三三
九	助膜炎	三三
〇	胸膜水腫	三三
第五編	消化機病	三三
一	加答兒性口炎	三三
二	亞布答兒性口炎	三三
三	潰爛性口炎	三三
四	耳下腺炎	三三

五	咽頭炎	三三
六	食道變廣	三三
七	馬ノ急性胃腸加答兒	三三
八	牛ノ急性胃腸加答兒	三三
九	牛ノ慢性胃腸加答兒	三三
〇	反芻獸ノ食滯	三三
一	創傷性胃橫隔膜炎	三三
二	疝痛	三三
三	(1) 疝痛一斑類症鑑別	三三
	(2) 痙攣疝痛	三三
	(3) 過食疝及食滯疝	三三
	(4) 風氣疝痛	三三
三	胃腸潰瘍	三三
四	胃腸出血	三三
五	單純胃腸炎	三三
六	微性胃炎	三三
	水腫	三三

第六編	一	肝臟病及腹膜炎	八五
		循環器病	
	一	心囊炎	八六
	二	心臟ノ肥大及擴張	八七
		心筋炎	
	四	急性心内膜炎	八八
	五	慢性心内膜炎	八九
第七編		泌尿器病	
	一	尿毒症	九〇
	二	牛ノ腎盂腎炎	九〇
	三	尿管閉	九〇
	四	血色素病	九一
	五	腎炎	九二
	六	膀胱加答兒	九三
第八編		皮膚病	
	一	犬ノ濕疹	九四
	二	牛ノ疥疹	九五

三	豚ノ毒麻熱	九六	
四	蠟疽斑	九六	
五	顆粒性皮炎	九七	
六	匍行疹	九八	
七	白癬	九九	
八	膿疱皮炎	九九	
第九編			
	運動機病		
	一	筋肉痠麻質斯	一〇一
	二	關節痠麻質斯	一〇二
	三	仔獸ノ膿毒性關節炎	一〇三
	四	骨軟症	一〇三
	五	佝僂病	一〇三

家畜內科類症鑑別目次終

家畜内科類症鑑別

獸醫 金澤常勇著



家畜内科病ノ相類似スルモノヲ鑑別スル學ニシテ
臨床診斷上最重要トシテ
科タリ余ハ今左ノ疾病分類法ニ就キ順次論

第一 傳染病

第二 體質病

(乙) 局處病

第一 神經系病

第二 呼吸器病

緒論

- 第三 消化機病
- 第四 循環器病
- 第五 泌尿器病
- 第六 皮膚病
- 第七 運動機病

第壹編 傳染病

(一) 牛疫 *Pestis bovina*

診斷 生前ノ症狀ト死後ノ變狀トハ每常必シモ悉ク具備スルモノニアラス故ニ獸醫ハ徵候及剖檢ノ外本病ノ經過及傳染ノ狀況ニ注目スヘシ

類症鑑別 牛疫ニ最モ酷似スルハ左ノ疾病ナレハ之レカ誤診ヲ招クコトアリ

- (一) 牛ノ流行性感胃 初兆ハ牛疫ニ類スルモ經過緩慢ニシテ輕ク速カニ治シ口粘膜ノ爛斑ヲ缺ク
- (二) 悪性加答兒熱 傳染力微ニシテ一地方ニ常在ス輕緩ナル經過ヲ有シ專ラ呼吸器及頭部ヲ侵シ劇シキ眼症ヲ發シ角膜不透明トナル
- (三) 微性腸炎 諸種ノ細菌及腐敗食ニ因ル所ノ腸炎ハ劇烈ニシテ地方病ノ觀アルヲ以テ牛疫ニ類スルモ腸病ト神經症ヲ主トシ傳染ノ兆ナシ
- (四) 赤痢 既ニ病初ヨリ特異ノ下痢(即チ血便)アリ又赤痢ハ腸ヲノミ侵シ口腔、眼、鼻腔、陰腔、等ノ粘膜ニハ異變ナシ
- (五) 口蹄疫 口腔ノ潰瘍、胃病及乳房ノ發疹ハ稍ヤ牛疫ニ類スルモ蹄冠ニ水泡ヲ發シ口内ニ特徴アリ
- (六) 中毒 類似ノ症候アルモ傳染セス
- (七) 肺疫 精密ニ胸部診斷ヲ行フヘシ

- (八) 狂犬病 牛疫ニ於テ類似ノ神經症狀アルモ鑑別ハ容易ナリ
- (九) 炭疽 胃ヲ侵セハ牛疫ニ類スルモ經過ハ牛疫ヨリ更ニ急劇ニシテ解剖上特異ノ變狀ト病原菌 *Bacillus anthracis*, ヲ檢シテ診定スヘシ
- (十) 血尿症 本病ハ傳染セズ

(二) 炭疽病 Anthrax,

一般類症鑑別 症候上類似ノ疾病ハ各獸炭疽ノ條下ニ詳説シ左ニ類似細菌ヲ畧記セン

- (一) 腐敗菌 ばくてりや、てるもをハ固有運動ヲ呈シ菌端鈍圓ナリ他ノ腐敗菌ニシテ炭疽菌ト鑑別シ難キモノアルトキハ著色シテ杆端ノ銳劃竹節狀ノ連節、杆端面ノ微凹陷ヲ發見シ尙ホ疑アレハ試驗的接種ヲ施スヘシ
- (二) 悪性水腫菌 炭疽菌ヨリモ細狹ニシテ連節ヲ缺キ菌端銳劃ナラ

ス又血中ニ存セス通常遅々タル運動ヲ呈シ長線ニ成長シ培養基ニ瓦斯氣泡ヲ生ス

- (三) 氣腫疽菌 炭疽菌ヨリモ短ク且ツ厚クシテ菌端鈍圓活潑ニ運動シ瓦斯ヲ生ス加之嫌氣性ナルヲ以テ馬鈴薯面ニ蕃殖セス
- (四) 乾芻菌 短厚ニシテ一種ノ運動ヲナシ其兩端ニ鞭毛ヲ附著ス此細菌ハ芽胞ヨリ縱軸ニ發育ス

(1) 牛ノ炭疽

類症鑑別 牛ニ於テ炭疽ト誤診セラレ易キ疾病ハ中毒症、腦炎、腦卒中、肺卒中、熱射病、狂犬病、白血病等ナリ經過急劇ニシテ問々觀察ノ暇ナキヲ以テ多クハ剖檢ノ後チ始メテ斷定スルヲ得、炭疽菌ノ發見並ニ試驗的接種ハ鑑定ノ指鍼トナスニ足ル氣腫疽トノ鑑別ハ該病ノ條下ニ於テ詳説スヘシ

(2) 馬ノ炭疽

類症鑑別 馬ニ於テハ血斑病、疝痛、腦卒中、肺水腫、敗血症ト誤診セラレ易ケレトモ精密ナル檢診ヲ下セハ多クハ確診スルヲ得ヘシ猶ホ細菌檢査及接種試驗ヲ施セハ一層確實ナリ

(3) 羊、山羊ノ炭疽

類症鑑別 山羊及羊ノ炭疽ハ惡性水腫症ト誤診セラレ易シ宜シク細菌檢査及接種試驗ニ依テ診定スヘシ

(三) 氣腫疽 Ranschbrand,

類症鑑別

(一) 炭疽 トノ鑑別ハ次ノ如シ

(1) 臨牀上 氣腫疽ハ瓦斯ヲ含ミタル曝嚙性腫脹ヲ呈スルモ炭疽ハ之レヲ缺ク

(2) 剖檢上 氣腫疽ノ血液ハ炭疽ノモノニ反シ能ク凝固シ筋肉變狀ト血液並ニ脾臟ノ異常ハ炭疽ニ特兆タリ

(3) 細菌學上 宜シク細菌檢査及動物試驗ニ徴シ區分スヘシ(是レカ詳細ハ細菌學ヲ見ルヘシ)

(二) 惡性水腫 トノ鑑別ハ其ノ條下ニ詳説ス

(四) 皮鼻疽 *Malleus humidus,*

臨牀上類症鑑別 臨牀上類似ノ主ナルモノヲ左ニ述ヘン

(一) 慢性鼻加答兒 經久ノ鼻漏、腺腫、稀有ノ淺潰瘍ハ鼻疽ノ疑ヲ起サシム須ラク其ノ經過ヲ觀察スヘシ本病ハ鼻粘膜ニ癒痕ヲ生セス大抵局所療法ニ依テ治癒スレトモ皮鼻疽ハ然ラス

- (二) 鼻粘膜ノ膿胞膿潰 鼻孔周邊ノ皮膚ニ傳ハリ輕キ腺腫ヲ伴ヒ瘰癧ヲ殘サスシテ速カニ治ス
- (三) 鼻出血 鼻粘膜ノ外傷、炎症、動脈瘤、靜脈炎、血管腫、頭部ノ充血、肺充血、肺炎等ノ諸症ノタメ鼻出血ヲ來スヘキモ精密ノ検査ニ依テ鼻疽ト區別シ得肺出血ノ條下參照)
- (四) 鼻粘膜ノ外傷 外力、異物、熱蒸氣、爪等ノタメニ生シタル損傷ヲ細密ニ檢スレハ判知スルコトヲ得
- (五) 鼻粘膜ノ新生物 鼻中隔ノ血管腫、鼻腔並ニ其副腔ノ肉腫、癌腫、軟骨腫、息肉等ハ往々鼻疽ノ疑ヲ醸ス事アルモ剖檢ニ依テ鑑別容易ナリ
- (六) 鼻腔ノ寄生蟲 顯微鏡検査及全身症狀ニ鑑ミテ區別スルヲ得
- (七) 傳染性膿疱口炎 ハ主トシテ口腔粘膜ニ限局シ良經過ヲ取ル
- (八) 腺疫 腺疫ノ淋巴管炎ヲ發シ頭、頸等ノ腫脹セシモノハ鼻疽ト誤認シ易キモ腺疫ノ他徵備ハルト速カニ治スルトニ由テ鑑別スルニ

尾ハ慢性轉移性腺疫ハ接種法ト純粹培養トニ依ラサレハ區別シ難キモノアリ

- (九) 淋巴管炎 本症ハ屢々皮疽ト混同セラレ鑑別シ難キモノ尠シトセス蓋シ淋巴管炎ハ通例創傷ノ近傍ニ發スルモ之ヲ以テ察病上ノ指鍼トナスニ足ラス何トナレハ皮疽モ創傷ヨリ發生スル事アルノミナラス病原タルノ創傷ハ既ニ癒合スルコトアレハナリ淋巴管炎ハ往々急性ニシテ發熱シ淋巴管ハ大ニ膿腫スルヲ常トス然ルニ皮疽ハ概シテ無熱緩慢ナリ又淋巴管炎ニ發スル膿瘍ハ平滑ノ周縁ヲ有シ肉芽ヲ生シ速ニ癒ユルモ皮疽ノ膿瘍ハ噴火口狀ニシテ不治ノ潰瘍ニ變ス又淋巴管炎ニ於テハ管圍ノ結締織炎ニ膠樣浸潤アルヲ以テ其腫脹ハ廣大ナルモ皮疽ニ於テハ之レヨリ細狹ナルヲ常トス然レトモ確診ヲ欲セハ接種法又ハ細菌培養法ニ賴ラサルヘカラス
- (十) 膚列炭蒙性肺炎 肢、頭其他ノ部位ノ本症並ニ膿毒轉移症ハ皮鼻

疽ノ疑ヲ起サシムル事アリ須ラク創傷挫傷ノ如キ炎ノ起點ヲ發見スヘシ疑ヒ晴レサレハ接種法ヲ施スヘシ

(七) 血斑病 皮膚大ニ腫脹スルモ曾テ結節狀ノ球腫ヲ生セス且ツ熱候較々輕キヲ以テ急性鼻疽ト區別スルニ足ル

解剖的類症鑑別

- (一) 肺ノ放線菌病及ぼとりをみこいぜ 肉眼上鼻疽ト混視スルコトアルヘキモ鏡檢スレハ放線菌病ハ黒覆盆子狀菌直チニ現ハル、ヲ以テ鑑定容易ナリ
- (二) 肺結核 細菌ノ差異ニ依テ鑑別ス
- (三) 肺ノ肉腫及癌腫 顯微鏡檢査ニ依テ容易ニ區別シ得ヘシ
- (四) 老馬ノ肺ニ於テハ石灰變性、乾酪變性ヲナシ若シクハ包裹セラレタル無數ノ小結節ヲ見ルコトアリ蓋シ小結節ハ扁豆大乃至蠶豆大ニシテ包蟲すくれろすとーまむ出血性糸狀蟲等ノ死妙ヲ含ミ或ハ

至小ノ異物性肺炎若クハ塵埃吸入性肺炎ヲ示ス這般ノ小結節ハ屢々鼻疽小結節ト誤認セラル、ヲ以テ該小結節ノ新陳同一ナル事及氣管枝淋巴腺ノ腫脹ナキ等ニ注目スヘシ又眞ノ鼻疽小結節ハ石灰變性ヲ起サス果シテ然ラハ解剖上ノ鑑別ハ一層容易ナリ

(五) 腺疫膿毒症等ニ發スル肺ノ栓塞性小結節ハ蠶豆大乃至鷄卵大ニ達シ或ハ全肺ニ散蔓ス通例肋膜下ニ位シ同大同時期ニシテ當初楔狀ノ出血硬塞ヲ呈ス鼻疽モ之ヲ生スル事アルヲ以テ他ニ鼻疽變狀ナキヤ否ヤニ注目スヘシ

(六) 氣管支炎、氣管枝周圍炎、氣管枝擴張、慢性間質肺炎、加答兒性肺炎ノ病竈、ゑひのこつかす、包蟲ノ死セルモノハ肺鼻疽ト混同セララル、コトアルモ他ニ鼻疽固有ノ病變ナシ

(七) 肝臟、脾臟ニハ石灰變性ヲナシ包裹セラレタル無數ノ小結節ヲ生スルモ他ニ鼻疽病變ノ無キモノハ腸ヨリ來レル栓塞ニシテ大半植

物性ナリ

(五) 傳染性胸膜肺炎

lungenseuche,

類症鑑別

類似ノ症次ノ如シ

- (一) 異物性肺炎 病狀ハ畧ホ肺疫ニ類スルモ精密ニ診斷スレハ鑑別容易ナリ
- (二) 野獸疫ノ胸症 頗ル類似スルモ同時ニ發疹及腹症ノ徵アリ經過急劇ニシテ剖檢上炎症ハ急性ニシテ新陳時間ヲ同フスルヲ以テ肺炎ト鑑別スルヲ得
- (三) 結核 時トシテ間歇熱ヲ發スルヲ以テ肺疫ノ第一期ト鑑別シ難キコトアリ須ラクつべるくりん診斷的注射ニ依ルヘシ
- (四) 肺寄生蟲 罕ニ誤診セラル、コト有ルモ注意シテ診斷スレハ鑑別難カラヌ

- (五) 格魯布性肺炎 臨床其定型的急性經過ト突然ノ特發トニ徵シテ鑑別シ剖檢上肝變部ノ新陳時期ヲ同フスルト肺ノ小葉間組織及胸膜ノ病變少ナキトヲ察シテ區別スヘシ

(六) 流行性驚口瘡

Aphthae,

類症鑑別 輕症ハ口腔粘膜炎ノ外傷、水疱、潰瘍、放線菌病、汞中毒、痘瘡、蹄裂隙炎、水疵等ト混視セラレ惡症ハ炭疽、野獸疫、牛疫ト誤診セラル、コトアルモ精密ノ診斷及傳染性ノ有無ニ依テ鑑別スルコトヲ得ヘシ

(七) 羊痘

Variola ovinae,

鑑別 微ノ中毒ヨリ來ル頭部ノ膿疱性濕疹及毒麻疹ト混同スルコトアリ從來羊痘ノ發生セサル地方ニ於テ此ノ如キ發疹ヲ見レハ特發性又ハ流行性ナルヤニ注意シ鑑別スヘシ

(八) 豚虎列拉 Schweinepest,

類症鑑別

主ナル類似症ニ就テ其ノ鑑別ヲ左ニ述フヘシ

- (一) 豚羅斯疫 發疹症ト混同セラル、コトアリ須ラク細菌検査及接種試験又ハ剖檢ニ依テ鑑別セラルヘシ
- (二) 肺寄生蟲 肺ニ寄生蟲アルモノ本病ニ罹レハ相混同ス
- (三) 結核症 結核病竈ハ石灰變性ヲナシ新陳不同ノ變狀ヲ現ハシ細菌ヲ異ニス

(九) 豚羅斯疫 Schweinerotlauf,

類症鑑別

- (一) 豚虎列拉 微菌^{バクテリア}ヲ異ニシ肺及腸ニ特異病變アリ猶ホ其病毒ヲ同時ニ鳩トもるもつとトニ接種シ鳩ハ死スルモもるもつとトハ尙ホ生存スルルハ羅斯疫ニシテもるもつとトハ死シ鳩生存スルルハ虎列拉ナリ
- (二) 炭疽 稀ニ炭疽性安魏那及ヒ舌炭疽トシテ發顯ス血液ヲ鏡檢シテ炭疽ノ有無ヲ見ルヘシ
- (三) 眞性丹毒 丹毒ハ頭部ノ創傷ニ發スル疼痛性皮膚炎ニシテ壞死ニ陥リ易シ
- (四) 熱射病 酷暑ノ候本病ヲ發シ往々疑ハシキコトアルモ剖檢スレハ鑑別容易ナリ
- (五) 外傷性紅斑 精診ニ依リ鑑別難カラス
- (六) 蕁麻疹 良性ノ特發症ニシテ傳染力ナシ

(三) 狂犬病 Rabies,

類症鑑別

狂犬病ト誤診シ易キ疾病ハ頗ル多シ例之腦炎、腦充血、腦寄生蟲、腦腫瘍、犬瘟熱、癩痢、胃炎、腸炎、腸寄生蟲、咽頭炎、三叉神經病ニ基ク

下顎麻痺、顔面神經麻痺、偏癱、日射病、咬癖、執拗、腎蟲等ナリ精密ノ診斷ニ依テ大抵鑑別シ得ルモ若シ困難ナルトキハ接種試験ヲ施スヘシ猶ホ左ニ本病ノ診斷ヲ略記スヘシ

診斷 狂犬病ヲ診斷セント欲セハ既往ヲ質シ他犬ニ咬傷セラレタルヤ否ヤヲ詢究スヘシ臨床上ノ要徴ハ舉動ノ一變、音聲ノ變化、逃走、咬嚙、下顎麻痺并ニ定型的經過ニアリ這般ノ徵候ト剖檢上ノ陰性結果ヲ合セテ一考スレハ狂犬病ノ診斷ハ難シトセス胃中ノ異物ハ疑症ヲ判決スルニ必要ナルモ是レノミニ依テ確診スルヲ得ス何トナレハ狂犬病ニシテ異物ヲ缺クモノアリ之レニ反シ狂犬ニアラサルモノ却テ異物ヲ含ムコトアリ

(二) 假性皮疽 Pseudofarcy,

類症鑑別

(一) 眞性皮鼻疽 頗ル類似ノ點アリ區別困難ナル事アリ左ニ鑑別ノ要點ヲ述ヘン

- (イ) まれいん ノ注射ヲ施シ其ノ反應ノ有無ニ依テ鑑別セララル
- (ロ) 接種試験 もるもつとハ眞性皮疽毒ニ感シ易キモ假性皮疽ニ對シテハ皮下接種ヲ抗拒ス
- (ハ) 臨床及剖檢上 假性皮疽ハ専ラ皮膚ニ發シ内臟及淋巴腺ニ發スルモノハ較々少ナシ然ルニ眞性皮疽ハ屢々内臟其他ノ臟器ヲ侵ス又假性皮疽ハ皮膚潰瘍ノ息肉性ヲ特徴トスルモ眞正皮疽ニハ至テ稀レナリ又假性ノ膿ハ濃厚ニシテ練乳ノ如ク或ハ溷濁液ニ乾酪様ノ凝固物ヲ混スルモ眞症ニアリテハ稀薄ナリ又假症ハ概ネ鼻腔ノ兩側ニ發シ息肉狀ノ潰瘍ヲ呈スルモ眞症ハ大抵一側ニ偏シ其潰瘍凹陷シテ放線狀ノ癩痕ヲ結フ然ルニ斯クノ如キ癩痕ハ假性ニ於テハ稀ニシテ顎凹淋巴腺ノ腫脹必スシモ伴ハス若

シ鼻腔ニ病變アリテ腫脹スレハ兩側ニ發スルヲ例トシ腺ハ眞ニ硬結スルコトナシ眞性皮疽ハ不治ノ症ナルモ假性皮疽ハ治癒スルコト稀ナラス顯微鏡検査及接種試驗ヲ施セハ診斷更ラニ容易ナリ

(二) 顆粒性皮炎 往々疑ヲ抱クコトアルモ左ノ差異ハ要點ニ依テ鑑別セラルヘシ

(イ) 顆粒性皮炎ハ必ス身體ノ一局部殊ニ四肢ノ多クハ腕節及飛節以下ニ發シ播種狀ニ散點ス

(ロ) 顆粒性皮炎ハ夏季ニ發シ秋冷ニ向ヘハ癒方ニ赴ク

(ハ) 顆粒性皮炎ハ劇シク痒痛アリ

(ニ) 顆粒性皮炎ノ病變ハ結締織増殖ニシテ富脈ノ肉芽非常ニ贅生肉芽ノ處々ニ小窩アリあてろま様物質ヲ含ム是レ顆粒性皮炎シノ特色ニシテ會テ之レヲ缺クコトナク反テ假性皮疽ノ特徴タル

結節及膿瘍ヲ缺ク

(ホ) 創傷分泌液ハ純膿ニアラスシテ滑液ニ類セル粘滑牽縷性ノ液ナリ

(三) 四肢ノ浮腫 少シク注意スレハ誤診ヲ避クルコト容易ナリ

(四) 瘰癧及四肢ノ膚列瘰癧 流行性瘰癧ニ依ル大潰爛面ハ假性皮

疽ニ類スルモ肢ノ下方ニ限局スルト假性皮疽固有ノ結節及潰瘍ナ

キニ由テ鑑別セラルヘシ

(五) 外傷性潰瘍 外傷ヨリ傳染シタル假性皮疽ハ創傷附邊ノ淋巴ニ

沿テテ索腫若シクハ膿瘍ヲ生ス故ニ經過ヲ熟察スヘシ

(六) 象皮病及慢性關節腫脹 是レ等疾病ハ索腫及膿瘍ヲ生セス宜シ

ク一般症候ニ注目スレハ鑑別難カラス

(七) 鞍傷及馬具傷 甚タ廣ク化膿ヲ伴フ傷部ハ往々假性皮疽ノ疑ヒヲ招クコトアルモ其ノ部位ト經過トニ注目スレハ鑑別容易ナリ

- (八) 加那陀馬痘 經過短クシテ速ニ癒ニ傳染力至大ナリ且ツ其ノ膿疱ノ大小及位置ハ假性皮疽ニ異リテ皮膚ノ表層ニ位シ索腫ヲ缺ク
 - (九) 陰囊ノ肉腫、水腫、血腫
 - (十) ぼとりをみこーじす
 - (十一) あくちのみこーじす
 - (十二) 皮膚、皮下織ノ腫瘍及寄生性結節
 - (十三) 濕疹、蕁麻疹、水疱疹、慢性膿疹
 - (十四) 齒骨軟症
 - (十五) 白血病
 - (十六) 乳腺 疫
 - (十七) 鼻粘膜ノ外傷
 - (十八) 急性鼻加答兒、血斑病
- 是レ等ノ疾病ハ粗略ナル診断ノ結果假性皮疽ノ疑ヲ招キ大ニ狼狽ス

ル事アリ余ハ現ニ地方開業獸醫ニシテ前記ノ疾病ノ或ル一二種ノモノヲ假性皮疽ト誤診シ狼狽シタル者ヲ目撃シタリ固ヨリ富騰ノ學識ヲ有セザル士ノ粗診ニ基クモノニシテ精密ノ診断ト熟考トニ依リ鑑別スルハ敢テ難カラス若シ確診ヲ欲セハ須ク顯微鏡檢査ヲ行フヘシ

(三) 惡性水腫 Malignant oedem.

類症鑑別 左ニ類似症ニ就テ述フヘシ

- (一) 炭疽 惡性水腫毒ハもるもつとニ皮下接種スルモ感セサルト細菌ノ差異トニ依テ鑑別容易ナリ
- (二) 鳴疽 殊ニ產褥鳴疽ニ類ス其ノ差異ハ鳴疽ハ一地方ニ限局スルニ反シ水腫菌ハ汎ク土中ニ存シ且ツ絲狀ヲ生成スルニ在リ又惡性水腫菌ニ反シ鳴疽菌ハ往々亞膠ヲ液化セス又凝固血清(牛)ニハ瓦斯ヲ生セス總テノ培養基ニ腐敗ノ兆ヲ呈セス酒精中ニ於ケルできす

とろーすヲ分解セヌ又此ノ二菌ハ血清鑑別法ニ依リ判断スルヲ得
ヘシ

(三) 血斑病 *Pferdetyphus*

類症鑑別 牛ノ鳴疽野獸疫産褥敗血悪性水腫燐水銀劑ノ中毒馬ノ
腺疫炭疽敗血病及膿毒症急性鼻疽胸疫丹毒等ハ往々混同セラレ誤診
セラル、コトアリ皮膚ノ散漫性腫脹粘膜ノ血斑并ニ特異病原菌ノ欲
如ニ注目シテ診断ヲ下スヘシ

(四) 腺疫 *Drise*

類症鑑別

- (一) 鼻疽 トノ鑑別ハ鼻疽病ノ條下ニ詳述セリ
- (二) 單純ノ鼻加答兒 ニ於テハ淋巴腺ノ腫脹ハ輕微ニシテ化膿セヌ

或ハ全ク腫脹セヌ

(三) 耳下腺炎 顎凹淋巴腺ノ腫脹輕微或ハ全ク之レヲ缺キ化膿ヲ伴
ハヌ又大熱ヲ缺キ呼吸道ノ加答兒ヲ發スルハ稀ナリ

(四) 其他腺疫ハ咽頭炎、淋巴腺炎、甲介軟骨ノ粘液變性等ト誤診セラ
ルコトアルモ呼吸道ノ加答兒、大熱、淋巴腺ノ化膿ノ缺如ハ腺疫ニア
ラサルノ兆ナリ

腺疫ノ鑑別ハ至難ナラサレトモ若シ鑑別シ難キコトアラハ分泌液ノ
細菌學的検査ヲ施セハ判別明瞭ナリ

(五) 犬瘟熱 *Distemper. of dog.*

類症鑑別 犬瘟熱ハ單純原發ノ眼病、鼻腔、肺臟又ハ胃腸ノ加答兒ト
鑑別セサルヘカラス本病ノ一臟器ニ限局スルモノハ右ニ述ヘタル單
純ノ症ト識別シ難キコトアリ然レトモ本病ハ幼犬ニ多ク大熱ヲ發シ

同時ニ數多ノ臟器ヲ侵シ不良ノ經過ヲ取ルヲ以テ診斷スルニ足ル診察上特ニ注目ヲ要スルハ皮膚ノ膿疱ナリ神經症狀ハ間々狂犬病ノ疑ヲ抱カシムルモ人畜ヲ咬傷スルコトナク爾餘ノ經過モ全ク異レリ疥癬ニ類スルトコロアルモ癢痒至微ニシテ膿疱ハ下腹内股ニ發シ速カニ全身ニ蔓延シ他ニ本病固有ノ微アルヲ以テ鑑別難シトセス然レトモ同一ノ犬カ疥癬ト犬瘟熱トヲ併發スルコトアレハ注意ヲ要ス眞性癩痢トハ本病ノ癩痢發作急劇ナルヲ察シテ區別スヘシ

(六) 牛ノ惡性加答兒熱 *Kopfrankheit*

類症鑑別 本病ト牛疫トノ鑑別ハ極メテ必要ナルモ容易ナラス左ニ鑑別ノ要點ヲ述フヘシ
 (イ) 傳染力 惡性加答兒熱ニ於テハ傳染力至微ナルモ牛疫ハ極メテ強大ナリ

(ロ) 症狀 惡性加答兒熱ニ於テハ眼病及呼吸器ノ病變ヲ主トス然ルニ牛疫ノ主患ハ胃腸ニアリ解剖的變狀亦タ然リ角膜ノ溷濁纖維索性虹彩炎及呼吸器粘膜ノ纖維素滲出物ハ牛疫ニ於テ見サル所ナリ
 (ハ) 經過 牛疫ハ急性ナルモ惡性加答兒熱ハ牛疫ヨリ經過緩慢ナリ

(七) 白痢 *dysentaria alba*

類症鑑別 本病ハ幼獸ノ飼料不良母乳不良ニ基ク所ノ急性胃腸加答兒ト誤診スルコトアリ本病ハ産後直チニ發スルモノナレトモ腸加答兒ニ依ル下痢ハ之レニ反ス又其ノ經過ハ緩慢ニシテ糞便ハろーむ色或ハ灰綠色ヲ呈ス

(八) 赤痢 *dysentery*

類症鑑別 赤痢ノ剖檢ハ牛疫ニ類スル處アリ然レトモ赤痢ノ病變

ハ腸ニ占位シ呼吸器其ノ他ニ變狀ナク且ツ直接ニ傳染スルコト極メ
テ稀レナリ又中毒性、微性及地方性腸炎トノ鑑別困難ナリ腸管上皮剝
脱、血便等ニ注目シ一時ニ多クノ畜獸ノ侵サル、ヤ否ヤニ鑑ミ識別セ
ラルヘシ

(元) 家禽虎列拉 *Fowl cholera,*

類症鑑別

- (一) 胃腸加答兒 腸加答兒ノ下痢スルモノ食飼料ノ關係ヨリ多發ス
レハ混同視セラル、コトアリ然レトモ家禽虎列拉ハ經過急劇ニシ
テ大流行ヲ來ス
- (二) 實扶的里性粘膜炎 ハ經過緩慢ニシテ其ノ病處例之口、咽喉等ニ
特異義膜ヲ生ス
- (三) 中毒 トハ鑑別困難ナルコトアリ須ラテ剖檢ニ依テ識別スヘシ

家禽虎列拉ハ潜伏期ノ短キト經過ノ最急ナルト大流行及下痢トニ依
テ診斷スヘク死後剖檢及特異病原菌(*Bacterium avicium*)ノ檢出ニ依ラハ
診斷及鑑別容易ナリ

(三) 野獸疫 *Die wildum Rinderseuche,*

類症鑑別

- (一) 肺疫 剖檢ニ依テ識別シ得ヘシ即チ野獸疫ニ於テハ肺ノ變狀ハ
各部孰レモ同様ニシテ時期ヲ同フス然ルニ肺疫ノ病變ハ極メテ不
同ニシテ新陳時期ヲ異ニシ且ツ經過緩慢ナリ
- (二) 炭疽 皮膚及口腔粘膜ノ癰腫、出血性腸炎并ニ頭部ノ出血ハ炭疽
病ト酷似ス左ノ點ニ就テ鑑識スヘシ
- (イ) 野獸疫ニ於テハばちるす、あんどらちすヲ見ス
- (ロ) 動物接種試驗ノ結果炭疽病ハ特異ノ反應ヲ呈ス

- (ハ) 脾臓ノ肥大及加答兒様血液ハ炭疽ノ特兆ナリ
- (ニ) 羊ハ至テ炭症ニ感染シ易キモ野獸疫ニハ罹リ難シ
- (ホ) 炭疽ハ豚ニ容易ニ傳染スルモ野獸疫ハ豚ニ感染シ難シ
- (三) 惡性水腫 野獸疫ト確實ニ鑑別セント欲セハ細菌學的検査ニ依テ病原菌ヲ發見スヘシ
- (四) 氣腫疽 ハ一地方ニ常存シ其ノ腫瘍ハ特異ノ捻髮音ヲ發スルヲ以テ鑑別スルニ足レリ

(三) 固有ノ流行性感胃

Influenza proper.

類症鑑別

- (一) 胸疫 ト區別スルニハ消化器及眼ノ症狀顯著ナルト神經障害重キモ呼吸器病狀ハ反テ輕キトニ注意スヘシ
- (二) 血斑病 皮膚ノ腫脹大ナルトキハ血斑病ニ類スルコトアルモ血

斑ヲ缺如スルト經過佳良ニシテ傳染力至大ナルトヲ察シテ鑑別スヘシ

流行性感胃ハ汎ク傳播シ急ニ流行シ非常ニ傳染シ易ク疫性輕良ニシテ病候ハ頓ニ發シ又頓ニ散スルヲ以テ彼是考量シテ他病ト鑑別スヘシ余ハ本年新潟縣中魚沼郡ニ於テ大流行ヲ極メタル際ニ約二百頭ノ患馬ヲ視タルニ左ノ疾病ニ類似シ鑑別ヲ要シタリ

一 胃腸加答兒(流行性感胃ニ關係ナキ)

二 結膜炎(空前)

三 鼻加答兒

四 腺 疫

五 喉頭加答兒

是レ單純ノ之レ等疾病トハ其ノ流行性ナキト特異徵候及病原菌ノ檢出經過トニ鑑ミテ識別シタリ

(三) 傳染性助膜肺炎

Pleuropneumonia contagiosa,

左ニ診斷ヲ述フルヲ以テ他病ト鑑別スヘシ

診斷

頓挫經過ニ於テ肺炎ノ徵ヲ缺クトキハ察病極メテ難シ故ニ

大馬厩ニ於テ胸疫發生スルトキハ外觀健康ナルカ如キ馬匹ト雖モ日々二回ノ體温ヲ檢シ夙ニ病馬ヲ發見スヘシ又タしゆつ氏ニ據レハ本病ノ傳染毒ハ卵圓形ノ小桿菌ニシテ雙々相列シ雙桿菌ノ狀ヲ呈シめちーる藍并ニあにりん染料ニ染マリ易ク、ぐらむ氏法ニ依リ脱色ス、げらちんヲ液化セス其ノ純粹培養ハ南京鼠、家兔、鳩及もるもつとヲ發病セシムルモ豚及鶏ニハ感染セス

(三) 牛ノ流行性感胃

Influenza of cattle,

類症鑑別

(一) 肺疫 稀レニ牛疫ト混同セララル、コトアリ細菌ノ檢出精密ノ診斷ハ本病ヲ鑑別スルニ足ル

(二) 牛疫

(イ) 傳染ノ狀態 牛疫ハ一時ニ數町村ニ傳播セス其ノ蔓延ノ狀ハ

追究シ得ル確然タル經路アリ撲滅困難ニシテ慘狀ヲ極ム

(ロ) 經過 牛疫ノ經過ハ久シキニ亘リ消滅シ難ク整然タリ然レト

モ流行性感胃ハ頓發シ直チニ極期ニ達シ又速カニ減退ス

(ハ) 熱候 牛疫ノ熱ハ稽留スルモ流行性感胃ハ之レニ反ス

(ニ) 牛疫ハ殆ト全ク癒ユルコトナキモ流行性感胃ハ治療ヲ施セハ

大抵治癒シ死亡率至テ少ナシ

(ホ) 牛疫ハ初期便秘シ中期下痢ヲ來シ末期ニハ血便ヲ漏ラスモ流行性感胃ハ大抵便秘ス間々下痢及血尿ヲ漏ラスモ牛疫ニ比スレハ輕微ナリ

- (一) 牛疫ニ於テ粘膜炎、口腔、直腸ニ特異病變即チ血斑、爛斑ヲ見ル流行性感胃ハ潮紅ヲ來スコトアルモ斑狀ヲ認メス
- (二) 悪性加答兒熱ハ傳染力至微ニシテ相互ノ傳染少ナシ流行性感胃ハ強力ノ傳染及散蔓性ヲ有シ眼病ノ徵候ハ悪性加答兒熱ヨリ輕微ナリ

(二) 結核症 Tuberculosis.

(1) 牛ノ結核症 Tuberculosis of cattle.

類症鑑別

- (一) 臨床上 肺結核ハ寄生蟲病及肺氣泡ノ疾病ト類似シ腦結核ハ腦炎、腦脊椎膜炎、狂犬病、腦腫瘍ト混同セラレ眞珠病ハ肋膜炎ト子宮結核ハ子宮炎ト淋巴腺結核ハ放線菌病、淋巴腺炎ト誤認セラレ易シ之

レ等ハ鑑別困難ニシテ剖檢ノ結果ニ非ラサレハ確診シ難シ又余ハ關節結核ノ一病畜ノ治療ヲ擔任シ關節痲痺質斯ト誤診セルコトアリシ

(二) 解剖上 肺寄生、肺疫、氣管氣管支及肺ノ炎症、放線菌病、石灰及あみろいと變性、肝蛭、包蟲等ノ諸症ト鑑別スルヲ要ス

診斷 左ニ診斷法ニ就テ略記シ鑑別ノ補トナス

- (一) 臨床診斷 生前臨床診斷ニ依テ結核ヲ發見スルハ緊要ナル事ナレトモ難事ニシテ殆ント不可能ノ事ナレトモ全身營養ノ不良、羸瘦、咳嗽、淋巴腺ノ腫大硬化、肺ノ爆發音等ノ兆候ハ本病ノ診斷ノ一助トナル
- (二) 細菌學的診斷法 結核菌ノ檢出試驗アレトモ動物ニ於テハ咯痰稀有ナルヲ以テ行ヒ難キコトアリ詳細ハ細菌學ヲ見ルヘシ
- (三) つべるくりん注射診斷法 一千八百九十年古弗氏ノ發明ニ係ル

つべるくりんハ結核診断上貴重ノ物ナリ成牛ハ〇.五犢ハ〇.二ノ用量ノ十倍ヲ〇.五%石炭酸水溶液ニ稀釋シ皮下ニ注射ス病獸ハ注射後十乃至十五時間ニシテ反應熱ヲ發ス攝氏一度以上増温セシモノハ病獸ト見做シテ可ナリ

つべるくりん注射施行心得

つべるくりんノ注射ヲ行ヒテ精確ノ成績ヲ收メンニハ左ノ順序ニ從フヘシ

(イ) 注射前ノ注意 注射前一日間朝午夕ノ三回ニ檢温シ若シ體温三九五以上ニ達シ又ハ其ノ異常ヲ呈スルモノ及分娩期ノ近ツケルモノニハ注射ヲ見合ハスヘシ

(ロ) 注射用量

a 二年未滿

〇.三

b 二年以上

〇.五

c 體格重大ノ牡

〇.六

(ハ) 稀釋法

濃厚つべるくりんハ直チニ注射ニ適セス故ニ注射前一定度ニ稀釋スルヲ要ス之レヲ稀釋スルニハ〇.五%ノ石炭酸水ヲ用ヒ成牛一頭ニ對スル注射液全量ヲ二.〇(濃厚つべるくりん〇.五ニ〇.五%ノ石炭酸水一.五ヲ加ユ)トナシ犢ニハ其ノ五分ノ三量(一.五ヲ注射スヘシ)而シテ濃厚つべるくりんヲ其ノ容器ヨリ分取スルニハ消毒シタルビベツトヲ以テ其ノ一定量ヲ吸ヒ取り之レヲ適宜ノ消毒シタル容器ニ容レ之レニ適量ノ〇.五%石炭酸水ヲ加ヘ能ク振盪混和シテ用フ

(ニ) 注射器及其消毒

普通ぶらわつ氏注射器ヲ用フ其ノ内容五.〇乃至一〇.〇ノモノヲ良シトス注射器ハ使用前先ツ微温湯ヲ以テ洗淨シ然ル後チ五.〇%石炭酸水ヲ注射筒内ニ吸ヒ込ミ注射針ヲ裝シテ内容液ヲ射出ス斯

クスルコト二三回ニシテ更ラニ五、〇%石炭酸水ヲ吸ヒ込ミタル儘少クモ十分時間同液中ニ浸シテ消毒シ次キニ〇、五%石炭酸水ニテ洗淨スヘシ

(ホ)注射ノ部位及其消毒

注射ノ部位ハ通常頸側ニ於テスルヲ使トス先ツ局部ノ毛ヲ剪去シ五、〇%石炭酸水又タハ日本藥局法ノ酒精ヲ以テ充分消毒ヲ行フヘシ

つべるくりん注射ノ反應ハ注射後六時間乃至十時間ニ於テ發顯スルヲ以テ午後十時乃至十二時頃ニ注射スルヲ便ナリトス

(ヘ)注射後ノ檢温觀察

午後十時ニ注射シタルトキハ翌日午前六時ヨリ若シ午後十二時ニ注射シタル場合ニハ翌日午前八時ヨリ檢温ヲ始メ毎二時間ニ之レヲ反覆シ注射後二十時間マテ持續スヘシ例之午後十時ニ注射ヲ行

ヒシ場合ニハ翌日午前六時、午前八時、午前十時、正午十二時、午後二時、午後四時、午後六時ノ七回ニ檢温スルカ如シ、但シ注射後二十時間以内ト雖モ反應熱一旦最高度ニ達シ爾後二回ノ檢温ニテ體温ノ下降明瞭ナルモノハ注射後二十時間ニ至ルマテ檢温ヲ持續スルノ要ナシ

注射後ハ熱反應ノ外カ往々咳嗽頻發、食慾不良、戰慄ノ徵候ヲ呈シ又タ軟糞ヲ利スルコトアリ是レ亦タ注射ニ依ル反應ナレハ觀察ヲ怠ルヘカラス

檢温器ハ標準檢定濟ノモノヲ用ヒ一ノ動物ニハ終始同一ノ檢温器ヲ用フヘシ

(ト)つべるくりん注射後ノ判斷法

注射前ノ最高温ト注射後ノ最高温トヲ比較檢定シ其ノ體温ノ差ニ依リテ左ノ判斷ヲ下ス

注射後ノ最高温注射前ニ比シテ高キコト攝氏一・五度及其ノ以上

此ノ場合ニ於テハ結核病ニ罹レルモノト認定スルコトヲ得
b 差温〇・八乃至一・五以下

結核病ノ疑アルモノト認定スルコトヲ得

c 差温〇・八ニ達セサルトキ

此ノ場合ニ於テハ結核病無キモノト看做シテ可ナリ

(チ) つべるくりん注射ニ依ル反應ノ強弱ハ必スシモ病ノ輕重ト一致
セス極メテ稀レニハ重症結核ニ於テ反應ノ顯著ナラサルコトアリ
故ニ固有反應ヲ顯ハサ、ルモノト雖モ臨床上結核病ノ徵候存スル
トキハ本病ノ疑アルモノト看做スヲ安全ナリトス
(リ) 第一回ノつべるくりん注射ニ依テ反應顯著ナラサル動物ヲ更ラ
ニ鑑定セント欲セハ少クモ四週間以上ヲ經過シタル後チ第二回ノ

注射ヲ行フヘシ

(ヌ) 臨床上確カニ結核症ト診定シ得ルモノハつべるくりんノ注射ヲ
行フヲ要セス

つべるくりん貯藏法

つべるくりんハ濃厚ナルモノト稀釋セルモノトヲ問ハス常ニ清涼
ナル暗處ニ貯フルヲ要ス稀釋セルモノハ久シク保存スルヲ得ス故
ニ調製後一週間以内ニ使用スヘシ保存法宜シキヲ得レハ濃厚つべ
るくりんハ大約八ヶ月其効ヲ失ハス一旦開栓シ若干量ヲ使用シタ
ル後チ更ラニ之レヲ貯藏セント欲セハばらひんヲ以テ密封スヘシ
取扱上不注意ノタメニ往々變敗(濁濁セルモノハ變敗ノ徵ナリ)スル
コトアルヲ以テ如斯キモノハ須ラク廢棄スヘシ

つべるくりん注射ニ對シ諸々ノ反抗

(一) つべるくりん注射ハ健獸ニ病ヲ起サシムルト、之レヲ論破スルニ

ハつべるくりんノ製造ヲ知ルヲ以テ足レリトス即チつべるくりんハ結核菌ノ培養ヨリ得タルモノニシテ之レ培養ハ數度消毒セラレ、モノナリ

(二) 或ル結核病獸ニハつべるくりん其効ヲ奏セサルコトアリト實ニ然リ然レトモ病機終末ニ陥リ以テ外診上頗ル明瞭ニシテつべるくりんノ注射ヲ要セサルカ如キモノニ限ル

(三) 其他健康獸ニテモ反應ヲ呈スルコトアリト、然レドモ之レ誤謬タルヲ免レスつべるくりんハ最モ新ラシク且ツ輕微ナル結核變狀ノ存在ヲ示スモノナルヲ以テ明カナリ之レ剖檢ノ法不良ナルカ検査不充分ナルカニ因ル

(四) 肺及其他ノ臟器ノ結核症ナラサル疾患ニ於テモ結核症ト等シクつべるくりん注射後同一ノ反應ヲ呈スルコトアリ、然レトモ之レ亦タ誤謬タルヲ免レヌ即チあくちのみこーじすゑひのこつけん、寄生

氣管支炎等ノ疾病ニ於テハ單存スルトキハ反應ヲ呈セサルモ若シ結核症ヲ伴フ時ハ反應ヲ呈スルモノナリ前記ノ疾病ノタメ反應ヲ呈シタリト云フモ之レ亦タ結核症ヲ見出タシ能ハサルニ因ルナリ

(五) つべるくりんハ結核ノ發育ヲ催進スルトコロノ不良ノ性質ヲ有スト、之レ屢々人ニ於テ見ルトコロナルモ牛ニハ極メテ罕レナリトスノかゝる氏ハ三千五百回ノ注射ニ於テ僅カニ三回如斯キ場合ヲ見タルノミ

(六) つべるくりんハ牛乳ニ結核菌ノ侵入ヲ扶クト、實驗ニ據ルニ然ラサルコト明白ナリ

(七) 結核病獸ニ第一回つべるくりん注射ヲナスニ第二回注射ハ最早反應ヲ呈セスト、之ノ場合ハ稀レニシテ總數ノ五〇%以下トス甚タ微症ノモノノミニ於テ見ル

以上列擧スル所ニ依リつべるくりん使用ニ對スル反抗論ハ其駁論及

公平ナル事實ノ研究ニ向テ終ニ存立スル能ハサルヲ知ル
内務省規定傳染病研究所製造ノつべるくりんハ三〇入一瓶代價金參
圓ニテ賣リ下ク

(2) 馬ノ結核症

類症鑑別 鼻疽ニ類似スルトコロアレトモつべるくりん及ヒまれ
いんノ皮下注射ニ依テ鑑別シ得ヘシ(前項參照)

(3) 豚ノ結核症

類症鑑別 豚疫ト鑑別スルヲ要ス左ニをすてるたーぐ氏ノ鑑別法
ヲ述ぶ

(イ) 結核病ハ諸内臓實質ニ乾酪竈及硬固ノ結核結節アリ該臓器ノ淋
巴腺ハ常ニ腫大シ許多ノ小乾酪竈ヲ生シ遂ニハ石灰變性ヲ來スヲ

例トス

(ロ) 豚疫ハ病的變化ハ略ホ時期ヲ同フシ概ネ肺ニ限局ス豚疫菌及結
核菌ノ檢出ニ依ラハ鑑別容易ナリ

(4) 猫ノ結核症

類症鑑別 余ハ去ル明治三十七年以降十數疋ノ結核病猫ヲ診セリ
而シテ往々氣管支加答兒肺炎、繼蟲寄生、喉頭加答兒、感冒、中毒、腸加答兒
等ト混同セラル、コトアリキ然レトモ其ノ經過ニ注目シ全身症狀ニ
鑑ミハ識別敢テ至難ニアラス

(五) 放線菌病 Actinomycosis,

類症鑑別 結核症、傳染性肋膜炎、口蹄疫、腫瘍等ト誤診スルコトア
リ本病ヲ確實ニ鑑別セント欲セハ須ラク鏡檢ニ據リあくちのみこー

せぼびすヲ檢出スヘシ

(三) 傳染性膿疱口炎

Stomatitis. psutulosa. contagiosa.

類症鑑別

- (一) 馬痘 ハ鬚凹ニ限局スルヲ以テ區別スヘシ
- (二) 皮膚鼻疽 膿疱性口炎ハ經過佳良ニシテ症候ヲ異ニス又皮膚ニ發
セシ潰瘍ハ皮疽ノ如ク淋巴腺ト親密ノ關係ヲ有セス
病原菌檢出及接種試驗ニ依リ鑑別確實ナリ
- (三) 加奈陀馬痘 發疹ノ位置ヲ異ニス
- (四) 媮疫 ハ陰部ニノミ發ス
- (五) 唇邊へるべす 膿疱並ニ潰瘍ヲ生セス

(三) 強直症

Tetanus.

類症鑑別

- (一) 斯篤里幾尼涅中毒 ト混同セラレ易ケレトモ斯篤里幾尼涅中毒
ハ卒然劇烈ナル症候ヲ呈シ反射刺戟非常ニ亢進ス若シ鑑別困難ナ
ル場合ニハ南京鼠又ハもるもつとニ接種試驗ヲ行フヘシ
- (二) 急痲腦脊椎膜炎 狂犬病トノ鑑別必要ナリ一般症候ヲ精察シ諸筋
ノ攣縮經久ナルト意識ノ明瞭ナルトニ注目スヘシ

(三) 媮疫

Die beschalsenche dor ferde.

類症鑑別

- 左ノ疾病ト誤診セラレ、コトアリ
- (一) 腰萎症 生殖ノ變狀輕微ニシテ後身麻痺ヲ來セシモノハ其ノ狀
甚タ腰萎症ニ類ス全身症狀ニ注目シ生殖器ヲ精密ニ檢セハ概ネ鑑
別スルコトヲ得
- (二) 媮疹 ハ定型的經過ヲ取り症狀微ナリ

(元) 媾疹 Blasenausschlag,

類症鑑別 口蹄疫、媾疹、腫炎ト混同セサル様精密ノ診斷ヲ以テ鑑別スヘシ

(三) 驚口瘡 Soorkrankheit.

類症鑑別 亞布答性、膿疱性、潰爛性、口炎及ヒ家禽ノ實扶的里ト鑑別スルヲ要ス症候、經過ニ注目シ若シ判別困難ナルトキハ鏡檢スヘシ

(三) 實扶的里 Diphtherie,

鑑別 犢ノ實扶的里ハ口蹄疫ト鑑別スルヲ要ス本病ハ産初ノ犢ニ多ク老牛ヲ侵サス其ノ經過ハ悪性ニシテ急劇ナリ

(三) テキサス熱 Texasfieber oder Milzfieber,

(三) 亞布利加馬疫 Africannische pferdepesto,

(三) 間歇熱 Mararia,

(三) 猩紅熱 Schalach,

(三) 回歸熱 Pebriscenlens,

(三) 黃熱 Gelbfieber,

(三) ペスチ

此等ハ皆ナ家畜ニ稀有ノ疾病ナリ

微鏡 診斷

類

第貳編 體質病

(一) 貧血 Anæmia,

類症鑑別 貧血ノ要徴ハ自然孔粘膜(口腔、眼脰)ノ蒼白色ナリ宜シク精密ノ診斷ニ依テ他病ト鑑別スヘシ

(二) 惡性貧血 Anæmia Perniciosa,

類症鑑別 間歇性頑固ノ熱、血液ノ變狀ニ依テ他病ト鑑別スヘク白血病トノ區別ハ白血球ノ増加セザルト淋巴腺腫脹セザルト白血硬塞ナキトニ依リテ區別スヘシ

(三) 白血病 Leucæmia,

類症鑑別 白血球增多病 ハ刺絡後、出血後採食後、并ニ炎症及熱病

ニ發スル一時ノ現象ニシテ眞ノ白血病ニ於テハ白血球增多ハ常存ナルヲ以テ區別セラルヘシ

(四) 假性白血病 Pseudoleucæmia,

診斷 耳下腺下及顎凹ノ腺腫ハ診斷ノ一助トナルモ緩慢無熱ノ經過ヲ取ルヲ以テ稍ヤ困難ナリ又慢性營養變調ハ察病ノ助トナル
鑑別 腹腔内ノ肉腫及癌腫ハ徵候類似スルヲ以テ死後剖檢ニ依ラサレハ鑑別シ難シ

(五) 尿酸性關節炎 Arthritisurica,

一名痛風 Gout,

診斷及鑑別 本病ハ往々結核性關節炎ト誤診セラル、コトアリ顯微鏡的検査及化學的検査ハ診定ヲ下ス要法ナリ鏡檢上細小ノ鍼狀結

(元) 媾疹 *Blaschenausschlag,*

類症鑑別 口蹄疫、媾疹、腫炎ト混同セサル様精密ノ診斷ヲ以テ鑑別スヘシ

(三) 驚口瘡 *Soorkrankheit.*

類症鑑別 亞布答性、膿疱性、潰爛性、口炎及ヒ家禽ノ實扶的里ト鑑別スルヲ要ス症候、經過ニ注目シ若シ判別困難ナルトキハ鏡檢スヘシ

(三) 實扶的里 *Diphtheric,*

鑑別 犢ノ實扶的里ハ口蹄疫ト鑑別スルヲ要ス本病ハ産初ノ犢ニ多ク老牛ヲ侵サス其ノ經過ハ悪性ニシテ急劇ナリ

(三) テキサス熱 *Texasfieber oder Milzfieber,*

(三) 亞布利加馬疫 *Afriennische pferdepesto,*

(三) 間歇熱 *Malaria,*

(三) 猩紅熱 *Schulach,*

(三) 回歸熱 *Pebrisreculens,*

(三) 黃熱 *Gelbefieber,*

(三) ペンシ

此等ハ皆ナ家畜ニ稀有ノ疾病ナリ



第貳編 體質病

(一) 貧血 Anæmia,

類症鑑別 貧血ノ要徴ハ自然孔粘膜(口腔、眼、唇)ノ蒼白色ナリ宜シク精密ノ診斷ニ依テ他病ト鑑別スヘシ

(二) 惡性貧血 Anæmia Perniciosa,

類症鑑別 間歇性頑固ノ熱、血液ノ變狀ニ依テ他病ト鑑別スヘク白血病トノ區別ハ白血球ノ増加セサルト淋巴腺腫脹セサルト白血硬塞ナキトニ依リテ區別スヘシ

(三) 白血病 Leucæmia,

類症鑑別 白血球增多病 ハ刺絡後、出血後採食後并ニ炎症及熱病

ニ發スル一時ノ現象ニシテ眞ノ白血病ニ於テハ白血球增多ハ常存ナルヲ以テ區別セラルヘシ

(四) 假性白血病 Pseudoleucæmia,

診斷 耳下腺下及顎凹ノ腺腫ハ診斷ノ一助トナルモ緩慢無熱ノ經過ヲ取ルヲ以テ稍ヤ困難ナリ又慢性營養變調ハ察病ノ助トナル
鑑別 腹腔内ノ肉腫及癌腫ハ徵候類似スルヲ以テ死後剖檢ニ依ラサレハ鑑別シ難シ

(五) 尿酸性關節炎 Arthritisurica,

一名痛風 Gout,

診斷及鑑別 本病ハ往々結核性關節炎ト誤診セラル、コトアリ顯微鏡的検査及化學的検査ハ診定ヲ下ス要法ナリ鏡檢上細小ノ鍼狀結

晶又タハ斜方柱狀結晶ヲ認ム經過緩慢ナリ

(六) 糖尿病 Diabetes mellitus,

診斷 食慾佳良ナルニモ拘ハラズ羸瘦シ煩渴飲ヲ貪リ頻々大量ノ尿ヲ排シ具ツ白内障ヲ發スレハ初メテ糖尿病ノ疑アリ確診セント欲セハ左ノ檢糖法ヲ行フヘシ

驗糖法

(一) ところんめる氏ノ驗糖法

一ノ試驗管ニ檢査セント欲スル尿ヲ入レ加里鹼汁ヲ加ヘテ強亞爾加里性トナシ之レニ滴々硫酸銅溶液ヲ滴下シ尿ノ深藍色ヲ呈スルニ及ンテ止ム(酸化銅ノ發生)於是試驗管ヲ熱スレハ暗藍色ハ漸次濁黃色乃至黃赤色(次酸化銅ノ發生)ニ變ス尿中五〇%以上ノ糖分アルトキハ赤黃色ノ酸化銅ハ管底ニ沈澱ス

(二) ベつどげる氏驗糖法

之レハ鹽基性硝酸蒼鉛ヲあるかり溶液トナシ之レヲ熱シテ黑色ノ蒼鉛金屬トナスニアリ

(三) じーる氏驗糖法

苛性加里ヲ加ヘテ分解シタルヲ熱スレハ其ノ上層ハ深褐色ヲ呈スルニ在リ

理學的光線分極裝置

尿中糖分アレハ分極線ハ右轉ス之ノ裝置ヲ用フレハ容易ニ糖分ノ量ヲ知ルヲ得ヘシ

(七) 水血病

(八) 血友病

(九) 失苟兒陪屈

(一〇) 單尿崩

(一一) 肥胖

(一二) 瘦削

(一三) 肉腫及癌腫病

是レ等ノ疾病ハ鑑別法ヲ述フルノ必要ナキヲ以テ省略セリ

第參編 神經系病

(一) 腦充血 *Hyperaemia cerebri,*

類症鑑別

(一) 腦炎 ト混同スルコトアリ腦充血ハ輕易ニシテ無熱ヲ例トシ經過佳良ナリ

(二) 腦出血 *Brain apoplexy,*

類症鑑別

(一) 卒中性炭疽 炭疽ノ流行シツ、アルヤ否ヤニ鑑ミ血液ヲ鏡檢シテばちるすあんどらちすノ有無ニ依テ鑑別スヘシ
(二) 肺卒中 肺卒中ニ於テハ呼吸困難ヲ以テ主徵シ肺症ヲ伴フ

(三) 青酸及すとりきにーぬ中毒
 剖檢及化學的検査ヲ施セハ確實ニ鑑別スルコトヲ得ントモ症候ニ
 注目シ精密ノ診斷ヲ下セハ鑑別スルコトヲ得ヘシ
 診斷 腦出血ハ重症性腦症ノ頓發并ニ腦充血及麻痺ニ徴シテ診定ス
 ヘシ

(三) 腦炎 Encephalitis,

類症鑑別

左ノ諸症ト鑑別スルヲ要ス

- (一) 狂犬病 (狂犬病ノ條下參照)
- (二) 中毒 剖檢ヲ要ス
- (三) 腦充血 既ニ其ノ條下ニ述ヘタリ
- (四) 神乏症 經過症候ヲ鑑ミルヘシ

(四) 日射病及熱射病

Sunstroke and ensolation,

類症鑑別

左ノ各病ト鑑別スルヲ要ス

- (一) 腦充血
- (二) 腦炎
- (三) 腦卒中
- (四) 癲癇
- (五) 炭疽
- (六) 豚羅斯疫
- (七) 中毒

右各病ハ其ノ症狀經過ニ注目シ鏡檢、細菌検査、剖檢等ニ依リ鑑別スヘ
 シ精密ノ診斷ヲ要ス

(五) 腦脊椎膜炎

Cerebro-spinal meningitis,

類症鑑別

- (一) 腦炎 ハ脊椎病ノ徵ヲ缺ク
- (二) 結核性腦膜炎 ハ營養衰へ被毛光澤ナク體表淋巴腺腫脹ス猶ホ
確診セント欲セハ須ラク細菌検査及つべるくりん注射ニ依ルヘシ
- (三) 狂犬病 咬癖顔面麻痺其他ノ症狀ニ依リ鑑別スヘシ
- (四) いんぶるゑんざ 呼吸器ノ症狀ニ注目スヘシ
- (五) 慢性心内膜炎 瓣膜ノ雜音心悸亢進等ニ注目スヘシ

(六) 脊椎炎及脊椎膜炎

Myelitis meningitis spinaria,

類症鑑別

左ノ疾病ニ類似ス

- (一) 血色素病 尿ニ異常アリ經過急劇ナリ

- (二) 筋肉痠麻質斯ニ麻痺ヲ缺ク
- (三) 腎臓炎 尿ニ著シキ變化アルヲ以テ驗尿法ニ依リ鑑別セララルヘシ
- (四) 脊椎ノ出血及新生 生前殆ト鑑別シ難キコトアリ

(七) 脊椎ノ壓迫麻痺

Paralysis of the spinal cord by Compression,

類症鑑別

- (一) 腦麻痺 重要ナル鑑別ナリ左ノ要點ニ依ルヘシ
 - (イ) 腦麻痺ハ半身不隨ノ徵ヲ呈シ脊椎麻痺ハ截癱ノ徵ヲ呈ス
 - (ロ) 脊椎麻痺ニ於テハ精神ノ障害ナク又々腦髓神經ノ係累ヲ見ス
- 然ルニ腦麻痺ニ於テハ概ネ精神及腦髓神經ノ障害アリ
- (ハ) 脊椎麻痺ニ於テハ膀胱及ヒ直腸ノ麻痺ヲ來スコト多シ
- (ニ) 脊椎麻痺ハ後方ヨリ前方ニ向テ進行スルヲ常トス所謂上行麻

痺之レナリ

(ニ) 犬ノ瓣膜病ニ續發スル麻痺 ハ心臟検査ニ依テ鑑別セラルヘシ

(八) 脊髓勞 Tabes dorsalis,

類症鑑別

(一) 旋回病

(二) 脊髓麻痺

本症ハ驚愕刺感ノ如キ要徴ニ注目シテ鑑別スヘシ

(九) 癲癇 Epilepsia,

類症鑑別

(一) 急性腦症及急痲 神識ノ脫出經過等ニ依テ鑑別スヘシ

(二) 眩暈 ハ搖蕩ヲ缺知ヌ

(三) 大腿動脈及下腹動脈ノ血塞 直腸検査ヲ行ヒ後肢ノ不全麻痺及運動後ノ發病ヲ察シテ鑑別スヘシ

(一〇) 急痲 Eclampsia,

類症鑑別

(一) 斯篤里幾尼涅中毒

急痲ハ脊髓反射刺戟ノ徴ヲ缺如ス

(二) 強直症 急痲ハ精神爽快ニシテ強直菌ヲ見ス

(三) 癲癇 本病ノ條下ヲ參照スヘシ

第四編 呼吸器

(一) 急性鼻腔加答兒 *Coryza acuta,*

及慢性鼻腔加答兒 *Coryza chronica,*

殆ト他病ト誤診セラル、コトナキモ時トシテ腺疫いんふるゑんざ鼻疽ト誤診セラル、コトナキニシモアラス腺疫ハ淋巴腺ノ腫脹化膿ヲ伴フいんふるゑんざハ流行性ニシテ鼻疽ハまれいん注射ノ反應トニ因テ鑑別スヘシ病原菌ノ檢出ハ確實ナル法ナリ

(二) 鼻粘膜ノ劇性炎 *Severe inflammation of the mucous membran of Nose,*

類症鑑別

(一) 鼻疽 潰瘍ノ形狀箇數及皮膚ニ傳ハル點ニ於テ鑑別スベクまれいんノ注射ハ確實ナル法ナリ

(三) 鼻腔新生 *New formation in the nasal cavity,*

鼻疽ト鑑別スルヲ要ス潰瘍ノ状態及ヒ全身症狀ニ注目シ鑑別スヘシ

(四) 鼻腔出血 *Nasal bleeding,*

類症鑑別

(一) 肺出血 泡沫ヲ含ミ咳嗽ヲ發スルモ鼻出血ハ泡沫ヲ含マス咳嗽ヲ缺ク

(五) 慢性喉嚢加答兒 *Chronic catarrh of the Guttural pouch in Horse,*

本病ハ稀有ニシテ原發セス附邊炎症ニ伴フ
鼻加答兒耳下腺及淋巴腺ノ膿腫ト誤診セサル様精檢スヘシ

(六) 急性喉頭加答兒 *Laryngitis catarrhalis,*

診斷 頗ル容易ナリ喉頭部ノ知覺過敏咳嗽并ニ異常ノ喉頭音等ニ依リテ診定スヘシ

鑑別

- (一) 氣管支及氣管炎 ハ氣管支らっせるヲ有ス
- (二) 肺炎及肋膜炎 胸部診察ニ依ル

(七) 最急性喉頭炎 *Laryngitis acutissima,*

鑑別

- (一) 格魯布 ハ經過緩慢ニシテ義膜ヲ咯出ス
- (八) 喘鳴症 *Roaring,*

類症鑑別 本病ハ鼻腔後鼻孔及咽頭ノ狹窄及ぼり、ぶト誤診シ易シ宜シク喉頭鏡ヲ用ヒ或ハ精密ニ觸診スヘシ

(九) 急性氣管枝加答兒 *Bronchitis catarrhalis acuta,*

(二) 慢性氣管枝加答兒 *Bronchitis catarrhalis chronica,*

各特徴アルヲ以テ誤診スルコトナシ宜シク結核ト區別スヘシ

(二) 肺充血及水腫 *Hyperaemia of oedema pulmonum,*

精密ノ胸部診斷ニ依テ他病ト混同スルコトナシ

(三) 肺出血 *Haemorrhagia pulmonum,*

類症鑑別

- (一) 吐血 ハ血液多クハ凝固シ其色暗赤ニシテ食糜ヲ混シ酸性反應

ヲ呈シ肺出血ハ凝固セス其色鮮赤ニシテ大ニ泡沫ヲ含ム

(二)鼻出血 本病ノ條下ニ詳述セリ

(三)馬ノ格魯布性肺炎

Pneumonia crouposa in Horse.

類症鑑別

左ノ諸症ト鑑別スルヲ要ス

(一)加答兒性肺炎 左ノ要點ニ注目スヘシ

(イ)經過 定型經過ニ注目スヘシ

(ロ)格魯布性肺炎ハ實性充血ヨリ初マリ加答兒性肺炎ハ氣管支加答兒及氣管支炎ヨリ來ル

(ハ)加答兒肺炎ハ不正ノ經過ヲ取り肺萎縮(Atelectasis)及肺硬變(Fiburation)ヲ來シ又其炎竈ハ小葉ニ限局シ處々鳴喚狀ニ散發シ打診スレハ處々不齊ノ小濁音ヲ呈ス

(二)肋膜炎

(イ)肋膜炎ニ於テハ濁音界ハ水平ニ一直線ヲ呈スルモ肺炎ニ於テハ其ノ線ハ不正ナリ

(ロ)肺炎ハ整正經過ヲ取ル

(ハ)肋膜炎ノ打診反響ハ肺炎ニ於ケルヨリ一層濁音ス

(ニ)肋膜炎ニ於テハ氣管枝呼吸音ヲ缺如シ反テ摩擦音ヲ聽ク

(ホ)肺炎ニアリテハ心悸旺盛ナルモ肋膜炎ニ於テハ滲出液ノタメ心臟ハ壓迫セララル、ヲ以テ心悸微弱ナルモノ多シ

(三)胸疫 傳染性ノ有無ニ依リ鑑別スヘシ

(四)牛ノ格魯布性肺炎

Croupous pneumonia in cattle.

類症鑑別

(一)傳染性肋膜炎 鑑別ノ要點次ノ如シ

(イ)流行性ナク特發スルハ格魯布性肺炎ナリ

(ロ) 格魯布性肺炎ハ急性又ハ甚急性ノ經過ヲ取リ充血赤黃ノ肝變及吸收ノ時期ハ整然順序ヲ追フテ發ス又タ格魯布性肺炎ノ初期ニハ既テニ高度ノ熱アルモ尙ホ濁音ヲ呈セス然ルニ肺疫ノ經過ハ極メテ不正ナリ

(ハ) 剖檢ノ結果ヲ異ニス蓋シ格魯布性肺炎ニ於テハ肺ノ肝變部ハ經過急ナルカタメ時期ヲ同フシ同色同質ニシテ小葉間淋巴管ハ全ク發炎セツルカ或ハ浮腫浸潤若シクハ微シク纖維素滲出物ヲ生スルモ肺疫ハ之レニ反シ各肝變竈ハ時期ト外觀トヲ異ニシ且ツ小葉間淋巴管ハ高度ノ炎症ヲ發シ其ノ血管内ニハ血塞ヲ生シ小葉間結締織ハ大ニ炎症浸潤ヲ呈シ廣潤トナリ肋膜ハ纖維素滲出性炎症ヲ續發ス

(五) 加答兒性肺炎

Pneumonia catarrhalis,

類症鑑別

- (一) 格魯布性肺炎 本病ノ條下ニ詳述シタレハ參照スヘシ
- (二) 毛管氣管枝炎 加答兒性肺炎ニ於テハ熱度高ク痛咳ヲ發シ限局セル濁音アリ且ツ氣胞音ヲ缺如ス須ラク之レ等ノ徵候ヲ察シテ鑑識スヘシ

(六) 異物性肺炎

Pneumonia from foreign body,

類症鑑別

- (一) 肺疫 傳染力ノ有無及全身症狀ニ注目スヘシ異物性肺炎ハ急性ニシテ壞死シ易ク且ツ大理石ノ剖觀ヲ呈ス
- (二) 氣管支擴張 鼻漏中ニ彈力纖維ヲ缺クヲ以テ肺腔洞ト區別スヘシ
- (三) 齒患 口内ノ液特ニ臭氣ヲ放ツ

(四) 肺勞、顎竇病 等ト精密ノ診斷ニ依テ鑑別スルヲ要ス

(七) 肺氣腫 Emphysema pulmonum,

診斷 呼吸頓ニ促迫シ呻吟、咬牙、口ヲ閉キ頸ヲ延ハシ腹側顫動シ短キ痛咳ヲ發シ打診スレハ鼓音ヲ呈シ聽診スレハ囉發音、水泡音、乾性ラッセル等ヲ聽ク大氣既ニ皮下織ニ蔓延スレハ皮膚ハ軟腫ヲ發シ之レニ觸ルレハ囉發音ヲ發ス

鑑別 左ノ諸症ト區別スルヲ要ス

- (一) 氣腫疽 傳染力、細菌檢出等ニ依ラハ鑑別容易ナリ又氣腫疽ハ牛ニ多シ
- (二) 皮疽 全身症狀及肺ノ診斷ニ依テ區別スヘシ

(六) 息勞 Broken wind,

息勞トハ慢性無熱不治ノ呼吸困難ニシテ中年以上ノ馬ニ發ス其ノ經過、症候等ニ注目シ他ノ疾病ト鑑別スヘシ

(元) 肋膜炎 Pleuritis,

診斷 摩擦音、水平ノ濁音、槌下抵抗等ニ徴シテ知ルヘシ之ノ他呼吸ノ困難、心搏動ノ微弱若シクハ變位、鼻漏液ノ缺如、不正ノ熱等ハ皆ナ診斷ヲ助クルノ徴トス

鑑別 疝痛、肺炎、心臟病ト區別スヘシ

(三) 胸水 Hydrothorax,

類症鑑別

(一) 肋膜炎 胸水ハ熱候、炎症、摩擦音、胸部ノ疼痛、咳嗽等ヲ缺如シ又肋膜炎ハ概ネ一側ニ偏シ本症ハ兩側ニ發ス肋膜炎ノ滲出物ハ溷濁シ

纖維素及蛋白質ヲ含ムモ胸水ノ液ハ清澄稀薄ニシテ纖維素及蛋白質ヲ含ムコト至テ少量ナリ
胸水ハ姿勢ヲ變スルニ從ヒ容易ニ其濁音界ヲ轉位ス

第五編 消化器病

(一) 加答兒性口炎 *Stomatitis catarrhalis,*

別鑑症類

牛豚ニ於テ齶口瘡ト鑑別スルヲ要ス

診斷 口腔粘膜ノ乾燥、溫熱、潮紅及ヒ腫脹、舌苔、甘臭及ヒ流涎等ノ徵候ヲ呈ス

(二) 亞布答性口炎 *Stomatitis aphthosa,*

診斷 口腔粘膜面上ノ發疹、粘膜ノ潮紅腫脹及ヒ糜爛、流涎ヲナス

類症鑑別

(一) 口蹄疫 傳染力、蹄冠ノ水泡等ニ注目シ鑑別スヘシ接種試驗ヲ施

セハ識別容易ナリトス

(三)潰爛性口炎

Stomatitis ulcrosa.

診断 口腔粘膜腫脹潮紅灰白黄色褪色部及ヒ粘膜潰瘍性分解ヲ生シ齒齦ハ其ノ面不平坦トナリ汚色ヲ呈シ容易ニ出血スルニ至ル鉤齒ノ周圍ニ潰瘍ヲ生シ其ノ他大量ノ流涎血色汚色若シクハ褐赤色ノ津唾厭フヘキ腐敗臭等皆ナ本症ノ症候タリ

鑑別

- (一)口蹄疫 趾間ニ水泡アリ全身症狀ヲ呈ス
- (二)血斑病 他ノ粘膜(即チ腔肛門眼等)ヲ檢シ全身一般ノ症候ニ注目スヘシ

(四)耳下腺炎

Parotitis.

類症鑑別

左ノ諸症ト區別スルヲ要ス

- (一)腺疫 呼吸器上部ノ變狀眼ノ症候淋巴腺ノ化膿及部位咳嗽等ニ注目シ鑑別スヘシ若シ困難ナレハ鏡檢スヘシ
- (二)咽頭炎 位置及咽頭ノ變狀ニ注目スヘシ
- (三)耳下腺瘤 ハ無熱ニシテ炎症々狀ナク經過緩久ナリ
- (四)皮下織ノ炎症性腫脹 精密ノ觸診ニ依テ鑑別スヘシ

(五)咽頭炎

Pharyngitis.

診断

本症ノ特徴トスヘキモノ左ノ如シ

疼痛アル嚥下困難流涎反流頭強拘ノ姿勢咽頭部試壓ニ對スル疼痛咽頭部及ヒ耳下腺部ノ腫脹咳嗽困難ナル呼吸發熱咽頭粘膜ノ潮紅及ヒ腫脹等ナリ

鑑別

- (一) 口内又ハ咽頭ノ異物
 - (二) 咽頭ノ腫瘍
 - (三) 食道痙攣及狭窄並ニ麻痺
 - (四) 耳下腺炎
 - (五) 喉嚨腫
 - (六) 腺 疫
- 以上ノ諸症ハ各特異ノ病徴アルヲ以テ症候ニ注目シ精密ノ診察ヲ成サハ鑑別スルコト難カラヌ

(六) 食道變廣 Dilatatio of Oesophagus,

類症鑑別 左ノ諸症ニ類似スルコトアリ

- (一) 食道破裂
- (二) 咽頭炎

(三) 食道炎及中毒

經過緩慢其他ノ症候ヲ視察シ猶ホ確診セント欲セハ食道探子ヲ用フヘシ

(七) 馬ノ急性胃腸加答兒 Acute Catarrh of stomach and intestine,

診斷 急性胃加答兒

餌食障礙、惡心、嘔吐、舌苔、欠伸

急性腸加答兒

下痢、腸蠕動亢盛、試壓ニ對スル腹部ノ感覺過敏、稀ニハ輕疝、惡臭ノ糞、放屁、尿ノ酸性反應

鑑別 胃腸炎、赤痢、黃疸、疝痛ト鑑別スルコト必要ナリ須ラク症候、經過ニ注目スヘシ

(八) 牛ノ急性胃腸加答兒

Acute gastrintestinal catarrh in cattle,

診斷 急性胃加答兒

再嚙不振、第一胃蠕動遲滯或ハ絶止、不快ノ臭氣ヲ有スル暖氣

急性腸加答兒

下痢、腸蠕動亢進、試壓ニ對スル下腹感覺銳敏、疝痛、惡臭ノ糞、放屁、酸性反應ノ尿

鑑別

- (一) 鼓脹症 牛ノ急性胃腸加答兒ノ經過中往々小量ノ瓦斯ヲ發生シ鼓張症ノ疑ヒヲ抱クコトアルモ鼓張症ハ經過甚急ニシテ重兆ヲ呈ス
- (二) 胃腸炎 病勢ノ劇烈ナルニ依テ區別スヘシ

(九) 牛ノ慢性胃腸加答兒

Chronic gastro-intestinal catarrh in cattle,

類症鑑別

- (一) 急性胃腸加答兒 緩慢ナル經過ニ依テ鑑別スヘシ
- (二) 異物ニ依ル慢性腹膜炎 心臟病ノ徵候ニ注意スヘシ
- (三) 慢性鼓脹 瓦斯ノ量ニ依テ區別スベシ

(三) 反芻獸ノ食滯

Impaction in ruminant,

類症鑑別

- (一) 急性鼓脹 ハ腹部膨脹更ラニ著シク之レニ觸ル、ニ粘硬ノ物ナク彈力性ノ瓦斯アルヲ知ル呼吸、血行ノ障碍亦タ食滯ヨリモ劇シ
- (二) 腹内歇兒尼亞 ハ頓發シ動物不安トナルヲ以テ稍ヤ食滯ニ類スルモ直腸検査ヲ施セハ直チニ病ノ真相ヲ知ルニ足ル
- (三) 子宮翻轉 腔ヲ検査スヘシ
- (四) 急性胃腸加答兒 既往ヲ詢究スヘシ

(二) 創傷性胃横隔膜炎

Traumatic gastro-phrenitis,

類症鑑別

(一) 慢性胃加答兒 創傷性胃横隔膜炎ハ横隔膜及第二胃部ニ於ケル疼痛病候ノ反復變化急速ノ羸瘦治療無効等ニ鑑ミテ慢性胃加答兒ト區別スヘシ

(二) 腹膜炎及ヒ胃腸炎 ハ急性ニシテ熱ヲ發シ一般ノ症狀劇烈ナリ
(三) 尖體肺ヲ傷タレハ慢性肺炎ノ徵ヲ發シ結核ト誤認シ易シ確診ハつべるくりん注射ニ依ルヘシ

(三) 疝痛 Colica,

(1) 疝痛一斑ノ類症鑑別

左ノ諸症ト鑑別スヘシ

- (一) 陳痛 疼痛微ニシテ生殖器ニ變狀アリ消化器變狀ヲ缺ク
- (二) 尿閉 利尿ノ有無尿道及膀胱ノ異常アリかてーてるヲ挿入スヘシ
- (三) 膀胱加答兒 尿意頻數ニシテ膀胱部ノ知覺過敏病的尿ノ排泄胃腸ニ病變ナシ
- (四) 子宮炎 陰部ノ内外診ヲ行ヒ知覺排泄物ノ有無等ニ注意スヘシ
- (五) 子宮轉位 症候相類スルコトアルモ生殖器検査ニ依テ鑑別容易ナリ
- (六) 血色素病 ハ後肢麻痺シ腰部ニ疼痛ヲ呈シ特異尿變狀アリ
- (七) 歌爾尼亞 局部検査及直腸検査ニ依テ發見スルコトヲ得
- (八) 腹膜炎 大熱細數ノ脈、脫力等ニヨリ區別スヘシ
- (九) 腎炎 尿ノ理化學的検査ヲ施シ診定スヘシ腎炎ニ於ケル腹痛ハ

- 輕クシテ腰部ノ知覺過敏、後肢強拘ニシテ之レヲ開張ス
- (一) 肝炎 黃疸ノ徵アリ胃腸部ニ變狀ナシ
 - (二) 肋膜炎及肺炎 呼吸ノ狀ニ注意シ胸部ヲ精檢スヘシ
 - (三) 腦炎並ニ腦膜炎
 - (三) 蹄炎 歩行ノ狀ニ注目スヘシ
 - (四) 血斑病 出血ノ斑點ヲ注視スヘシ
 - (五) 炭疽 一般症候ニ注意シ血液検査ヲナスヘシ

(2) 痙攣疝痛 Spasmodic colica,

診斷 劇烈ナル間歇性發作、腸蠕動作用減衰及通便秘結ノ徵ヲ缺キ痙攣音ヲ聽ク

鑑別 他病トノ鑑別ハ容易ナルモ栓塞疝トノ鑑別ハ難クシ感冒ニ基因セルヤ否ヤニ依テ鑑識スヘシ

(3) 過食疝 Overfeeding colica,

診斷 既往ヲ詢究シ過多ノ食ヲ與ヘタルヤ否ヤヲ料スヘシ猶胃腸内食餌ノ含有量ニ注意スヘシ

(4) 風氣疝 Windcolic

診斷 腹部膨脹シ打診スレハ鼓音ヲ發ス呼吸速迫絶食ス心悸亢盛脈搏細數ニシテ他ノ瓦斯蓄積トハ經過ノ急劇ナルニ依テ區別ス

(三) 胃腸潰瘍 Stomach ulcer and intestinal ulcer,

類症鑑別 吐血、下血、嘔吐、疝痛等ニ依テ一般症候ニ注意シ他病ト區別スヘシ

(四) 胃腸出血

Gastroenterorrhagia et enterorrhagia.

類症鑑別

- (一) 肺出血 胃出血ハ吐血ノ前後胃ニ病變アルノミナラス胃ノ含有物ヲ吐出シ糞兒様ノ糞ヲ泄シ肺ハ無恙ニシテ咳嗽ヲ發セス且ツ吐出セル血液ハ凝固シ暗色ヲ帶ヒ酸性ヲ呈ス然ルニ肺出血ニ於テハ血液鮮紅ニシテ泡沫ヲ含ミ亞爾加里反應ヲ呈シ呼吸器ニ疾患アリテ咳嗽ヲ發ス但シ咯出ヲ嚥下シ更ラニ是レヲ吐出スル時又ハ咯血ニ於テ咳嗽刺戟ノタメ嘔吐スルトキハ鑑別困難ナリ
- (二) 痔血 精密ノ検査ヲ成シ直腸端ノ變狀ニ注目スヘシ
- (三) 赤痢 大下痢及全身症狀ニ徴シテ區別スヘシ

(五) 單純胃腸炎

Gastro-enteritis Simplex.

類症鑑別

- (一) 疝痛 熱度脈膊結膜ノ色彩疼痛ノ持續一般大違和頑固ノ便秘等ニ注目スヘシ
- (二) 胃腸加答兒 腸炎ニ於テハ大熱心力ノ衰弱全身ノ大違和腹痛ノ持續頑固ノ便秘アルヲ以テ鑑別スルコトヲ得ヘシ
- (三) 中毒 精密ノ問診及症候經過ニ注目スルヲ要ス
- (四) 炭疽 血液ヲ検査スヘシ
- (五) 狂犬病 神經變狀ニ注目スヘシ
- (六) 牛痘 傳染力及全身症狀ヲ視察スヘシ

(六) 黴性胃腸炎

Gastro-enteritis mycotica.

類症鑑別

- (一) 牛痘 牛痘ノ如ク消化器呼吸器眼腔等ノ粘膜全系ヲ侵サヌ又タ

口腔及腔ニ特兆ナク傳染力ナク經過剖檢亦タ異レリ
(二)炭疽 經過劇烈徵候錯雜ナリ須ラク血液ヲ檢シテ固有細菌ヲ發見スヘシ

(三)口蹄疫 傳染力及病源檢出ニ依テ鑑別スヘシ

(四)赤痢 初メヨリ下痢シ血線ヲ混ニ傳染力ヲ有ス

(五)狂犬病 咬傷ノ有無及神經症狀ニ注目スヘシ

(六)中毒性胃腸炎及他ノ藥品中毒 原因ヲ探究シテ區別スヘシ

(七)急性性腦炎 腸ノ病徵ヲ缺キ頑固ノ下痢及便秘ヲ見ス

(七)腹腔水腫

Hydrops ascites

類症鑑別

(一)腹膜炎 腹膜炎ニ於テハ發熱全身ノ違和甚シク後體ヲ觸診スレハ疼痛ヲ訴フ尿ノ比重ハ高シ

(二)妊娠 主トシテ按診ニ依テ決ス妊娠獸ハ健康ニシテ腹ハ側方ニ膨大ス

(三)肥胖症 心臟ヲ聽診シ且ツ一般ノ營養ニ注目スヘシ

(四)子宮ノ水腫及膿腫卵膜水腫 直腸陰腔ノ検査試驗的ノ穿刺術腹側ノ按診及打診等ニ依リ診斷ス

(五)膀胱麻痺 按診スレハ膀胱大ニシテ尿ヲ蓄溜ス姿勢ヲ變スルモ位置ヲ變セス尙ホ疑ヒアレハかてーてるヲ挿入シ尿ヲ排流セシムヘシ

(六)膀胱破裂 發汗ハ尿ノ臭氣ヲ帶ヒ發熱虛脱シ尿ヲ排泄セスかてーてるヲ用フルモ通流セス

(六)肝臟病及腹膜炎

是レ等ハ各相類似スル其ノ疾病ノ條下ニ於テ既ニ記述シタリ

第六編 循環器病

(一) 心臓ノ肥大及擴張 *Hypertrophia et Dilatio,*

類症鑑別

- (一) 肺炎及肺充血 精密ノ打診及聽診ニ依リ區別スヘシ
- (二) 神経性ノ心悸亢進 ハ心臓ノ濁音界増大セス重症性續發症ナク且ツ心搏動ノ強盛ハ持長セスシテ間歇ス
- (三) 瓣膜病 心雜音ニ依テ區別スヘシ

(二) 心嚢炎 *Pericarditis,*

診斷 既往ノ慢性消化不良異常ノ心臓作用、心嚢嚕鳴、靜脈鬱血、浮腫、緩慢致死ノ經過等ヲ參照スヘシ

鑑別

- (一) 肺炎 胸部ノ精密ナル診查ニ依ルヘシ
- (二) 心内膜 其ノ條下ニ詳述ス
- (三) 癩麻質斯性助膜炎 心臓ノ病變ナシ

(三) 心筋炎 *Myocarditis,*

類症鑑別

本症ニハ心臓ノ雜音、摩擦音等ヲ聽カス宜シク精診ノ上他病(心臓肥大、心内膜炎、心嚢炎)ト鑑別スルヲ要ス

(四) 急性心内膜炎 *Endocarditis acuta,*

類症鑑別

- (一) 炭疽
- (二) 敗血症

- (三) 腦 炎
 - (四) 血 斑 病
 - (五) 肺 充 血 及 肺 浮 腫
 - (六) 心 筋 炎
- 以上六種ノ疾病ニハ各特種ノ徵候アリ又急性心内膜炎ハ心臟雜音アリ精診シテ區別スヘシ

(五) 慢性心内膜炎 *Endocarditis chronica,*

類症鑑別

- (一) 肺炎 外觀上肺炎ノ徵ヲ呈スルコトアリト雖モ心臟ノ診查ニ依テ區別スヘシ
- (二) 本病馬ニシテ四肢殊ニ後肢ヲ搖蕩狀舉上運動ヲナスモノ多シ余ハ十七頭ノ該病畜ノ内十三頭ノ搖蕩狀舉上運動ヲ見タリ而シテ是

ノ場合ニ老輩舊古ノ伯樂連カ刺絡ヲ施シテ失敗セルヲ見シコト數回ナリ

- (三) 本病ハ心ノ嚙音ニ依テ他病ト區別スヘシ

第七編 泌尿器病

(一) 尿毒症 *Uraemia,*

本病ハ稀有ノ症ニシテ犬ニ多シ

(二) 牛ノ腎盂腎炎 *Pyelonephritis of cattle,*

類症鑑別 慢性ノ腎盂腎炎及萎縮腎トハ顯微鏡ニヨリ桿菌ヲ發見スルニアラスンハ鑑別スルコトヲ得ス普通ノ腎炎ニ於テモ亦タ然リ概シテ牛ノ慢性腎病ハ桿菌ヨリ生スル腎盂腎ト看做シテ可ナリ

(三) 尿閉 *Retentio urinae,*

類症鑑別

(一) 疝痛 ニ於テモ一時尿ノ通利止ムコトアルモ疝痛ハ腸病ノ症候

ヲ主トシ尿閉ハ膀胱ノ症狀ヲ主トス即チ尿意頻數ニシテ頻リニ窘迫シ陰莖ヲ包皮外ニ挺出シ反覆尾ヲ掉リ尿利久シク絶ヘ膀胱ノ知覺過敏ナリ

(二) 膀胱炎、腎炎、腹膜炎、腰痛
之レ等疾病ハ尿ノ通利スルニ依テ鑑別スヘシ

(四) 血色素病 *Haemoglobinuria,*

類症鑑別 左ノ諸症ト鑑別スルヲ要ス

- (一) 疝痛 病歴ヲ詢究シ久シク休息セルコトアリヤ否ヤヲ討ネ腎筋及ヒ尿ヲ檢シ後體麻痺ノ存在ヲ察スレハ鑑別スルコト容易ナリ
- (二) 筋肉僂麻質斯 血色素ヲ檢定シ麻痺ノ頻發及病歴ヲ詢究スレハ診斷容易ナリ
- (三) 腹部大動脈及其ノ枝別ノ血塞

頗ル類似ノ徵ヲ呈スルヲ以テ一見鑑別ニ苦ムコトアリ然レトモ直腸検査ヲ施セハ疑團直チ氷解ス但シ血塞ヲ生セル馬ヲ運動セシムレハ病徵發現シ休憩セシムレハ健態ニ復ス

(四)脊椎卒中、脊髓麻痺及後肢痿弱

外傷又タハ炎症ニ因スル麻痺ト誤診セラル、コトアリ外傷性ニアリテハ創傷ヲ認メ得ヘク脊髓膜炎ハ徐發シ且ツ原發病竈ナキヲ以テ鑑別スルニ足ル尿ノ性質亦タ判決ノ指鍼トナル

(五)強直症 腎筋硬固緊張セラル、ヲ以テ誤診スルコトアルモ之ノ

二病ノ徵候ヲ比較スレハ鑑別敢テ難カラス強直症ニ於テハ血色素尿ヲ見ス特異細菌ヲ有ス

(六)腎炎、炭疽、血斑病 少シク注意スレハ鑑別容易ナリ

(五)腎炎 Nephritis,

診斷 腎炎ヲ診斷セント欲セハ必ス尿ノ検査ヲ怠ルヘカラス

鑑別 腹膜炎、疝痛、膀胱炎、子宮内膜炎等ト鑑別スルヲ要ス

(六)膀胱加答兒 Cystitis catarrhatis,

診斷 尿意頻數反復少量ノ尿ヲ洩ラシ尿ハ落屑セル扁平上皮、白血

球、蛋白質、三基鹽ノ結晶并ニ細菌ヲ含ム膀胱ヲ壓スレハ疼痛アリ

鑑別 疝痛、子宮加答兒、尿道加答兒等ト鑑別スルヲ要ス

第八編 皮膚病

(一) 犬ノ濕疹 *Fozem of dog,*

類症鑑別

- (一) 匂行疹 圓形ノ禿斑ニシテ小結節、水泡及膿疱ヲ缺キ痒覺ナク傳染性ヲ帶ヒ顯微鏡下ニ檢スレハ特異ノ細菌ヲ發見ス
- (二) 疥癬 ハ感染力劇シク苛痒ヲ帶ヒ小結節ヲ生シ特異病蟲ハ顯微鏡檢査ニ依テ發見スヘシ
- (三) 毛囊蟲 ハ頭部及四肢ニ發シ染毒勢アリ頑固ニシテ至テ治シ難シ
- (四) 外傷性皮膚炎 限局セル反應的炎症ニシテ鱗屑狀ノ落屑ヲ生シ皮膚ノ一部壞死シ化膿性皮膚炎ヲ續發シ濕疹ノ特徴タル小結節、水泡及膿疱ヲ缺ク然レトモ濕疹ヌラ之レ等徵候ヲ呈セサルコトアルヲ以テ鑑別難キコトアリ

(二) 牛ノ粕疹 *Die Schleimhautke des Rindes,*

類症鑑別

- (一) 垢癩 病狀輕易ニシテ水泡ヲ發スルコト稀レナリ
- (二) 蹄疫 蹄冠縁及ヒ口腔ノ水泡ニ注目シ傳染力ノ有無ヲ檢スヘシ
- (三) 肢疥癬 緩易ノ症狀ヲ呈シ鏡檢ニヨリ疥癬蟲ヲ發見スヘシ
- (四) 癰疽 純然タル外科的ノ爪病ニシテ第三指骨ノ蹄冠若シクハ指間ヨリ起ル炎症ニシテ髓、關節、骨、骨膜ヲ侵ス
- (五) 藥劑ノ濫塗 畜主及伯樂連カ濫リニ石油、石炭酸等ヲ塗擦シ大ニ察病ヲ困難ナラシムルコトアリ

(三) 豚ノ蕁麻疹 Nettle fever of pig,

類症鑑別

- (一) 豚疫 ト區別スルニハ左ノ要點ニ注目スヘシ
- (イ) 蕁麻疹ハ至テ良性ナルモ豚疫ハ悪性傳染病ニシテ一日乃至三日内ニ斃ル
- (ロ) 蕁麻疹ハ身體ノ上部ニ丘疹ヲ發ス
- (ハ) 蕁麻疹ハ主ラ特發シ輕易ノ症狀ヲ呈スルノミ

(四) 壞疽疔 Dermatitis gangrenosa,

類症鑑別

- (一) 顆粒性皮膚炎 ハ痒痛甚シク無熱緩慢ノ經過ヲ取リ特異ノ顆粒狀結節ヲ有ス

(五) 顆粒性皮膚炎 Dermatitis granulosa,

診斷 盛夏ノ候ニ發スル頑固ノ皮膚潰爛ナリ痒痛劇シク潰瘍ハ瘍底及瘍縁ヨリ肉芽ヲ發生シ皮膚及皮下縁ノ大肥厚ヲ來ス
創面ハ顆粒狀ヲ呈シ周圍ノ健皮ヨリ著シク隆起ス
本症ノ特兆ハ創狀劇烈ナルニ拘ハラズ疼痛ナク却テ苛痒ヲ感シ周圍ノ淋巴系ニ關係ナシ夏期ニ發シ秋期ニ向フニ從テ自ラ癒エントス
本病ハ多ク四肢下端ニ發ス余ハ前後貳拾九頭ノ本病患馬ヲ見タリ然ルニ内貳拾七頭ハ四肢下端ニシテ前肢腕前部ノモノ拾八頭後肢飛節以下ノモノ九頭ナリキ

鑑別

- (一) 假性皮膚 部位及傳染力ノ有無淋巴系ノ關係等ニ徴シテ知ルヘシ

(二) 初期創傷及不正腫瘍及潰瘍ト混同スルコトアリ經過ニ注目シ精
診スヘシ

(六) 匍行疹 *Herpes tonsurans*,

類症鑑別

- (一) 牛ノ汞毒疹 症候經過ニ着目スヘシ
- (二) 犬ノ疥癬及毛嚢蟲 顯微鏡検査ノ結果ヲ殊ニス且ツ之ノ二症ハ
癢痒劇ナリ

診斷 匍行疹ノ診斷ハ敢テ難カラス播種狀ノ發疹圓形ノ禿斑灰白
色ノ痂皮鮮屑輕微ノ癢痒傳染性并ニ鏡檢上斷髮菌ノ發見ニ依テ診決
スヘシ

鏡檢セント欲セハ禿斑ノ周圍ヨリ毛ヲ拔キ毛根ヲ檢シ又ハ痂皮ヲ一
〇〇%苛性加里液ニ蘸シ軟化シテ之レヲ檢スヘシ

肉眼的ニハ毛根ノ白層ニ注目スヘシ

(七) 白癬 *Favus*,

類症鑑別

- (一) 匍行疹 白癬ハ圓盤狀痂皮ヲ有シ專ラ菌織ヨリナルモ匍行疹ハ
如斯キ痂ナク菌織ノ數少ナシ

(八) 傳染性膿疱皮炎 *Dermatitis contagiosa pustulosa*,

類症鑑別

- (一) 眞性馬痘 熱ヲ發シ繫凹ニノミ限局ス
- (二) 皮疽 水疱膿疱ナク且ツ治癒シ難ク特異ノ病原菌ヲ有ス
- (三) 慢性膿疹性濕疹 臨床上類似スルモ濕疹ハ傳染セス且ツ水疱膿
疱ヲ缺キ劇痒アリ

(四) 鞍創、馬具創 初期往々混同スルコトアルモ後ニ至レハ定型的經過ニ依テ診定スヘシ又其ノ部位ニ注目スヘシ

第九編 運動機病

(一) 筋肉 痺麻質斯 Rheumatismus Musculorum,

類症鑑別

- (一) 蹄炎 蹄ノ炎症症狀及ヒ跛行ノ狀ニ注目スヘシ
- (二) 腱炎、骨病 全身症狀及ヒ筋、腱、骨ノ症狀ニ注意スヘシ
- (三) 腰萎症 痺麻質斯性十字跛行ハ腰萎症ニ酷似ス全身症狀、歩機、後體ノ營養ニ鑑ミテ識別スヘシ
- (四) 血色素病 ノ後體麻痺ハ頗ル筋肉痺麻質斯ニ類スルモ尿ノ検査ニ依テ速カニ識別スルコトヲ得ヘシ
- (五) 關節 痺麻質斯 本病ノ條下ニ詳述シタリ
- (六) 肋膜炎、腎炎、骨髓炎等ト區別スルヲ要ス

(二) 關節癩麻質斯

Rheumatismus articularum,

類症鑑別

- (一) 筋肉癩麻質斯 ハ關節ニ腫脹發炎ノ徵ナシ
- (二) 關節結核 ハ經過緩慢ニシテ關節ノ腫脹ハ急性炎ノ徵ナク多クハ關節ヨリ常ニ膿様滲出物ヲ漏ラス關節癩麻質斯ノ液ハ稀薄帶黃色ヲ呈ス猶ホ結核性ノモノハ病原菌ヲ有ス

(三) 仔獸ノ膿毒性關節炎

Pyemicarthritis of sucklings,

類症類別

- (一) 急性關節癩麻質斯 往々混同セラル、コトアリ左ノ要點ニ注意スヘシ
- (イ) 膿毒性關節炎ハ産後速カニ發シ往々化膿性膺炎ヲ伴フコトアリ

- (ロ) 腫脹セル關節ノ化膿ハ急性關節癩麻質斯ニハ太々稀ナルヲ以テ毎常膿毒性ト看做スヲ得
- (ハ) 概シテ急性關節癩麻質斯ハ乳仔ニ稀レナリ

(四) 骨軟症

Osteomalacia,

類症鑑別

- (一) 佝僂病 ハ幼獸ニノミ發シ骨軟症ハ成獸ニノミ發ス
- (二) 癩麻質斯 早期ニ於テハ鑑別至ツテ難ク宜シク他ノ症狀ニ鑑ミ精診スヘシ骨軟症ノ病徵已ニ備ハリ骨折ヲ來セルモノ及流行性ヲ呈スルモノ察病容易ナリトス

(五) 佝僂病

Rachitis,

類症鑑別

- (一) 急性關節痠麻質斯 骨ノ隆起彎曲ヲ見ス頓發シテ急性熱性ノ經過ヲ取ル
- (二) 膿毒性關節炎 骨ノ彎曲隆起ナク化膿ヲ伴フヲ以テ注目スヲシ

家畜内科類症鑑別終

明治四十年三月二十日印刷
明治四十年四月三日發行

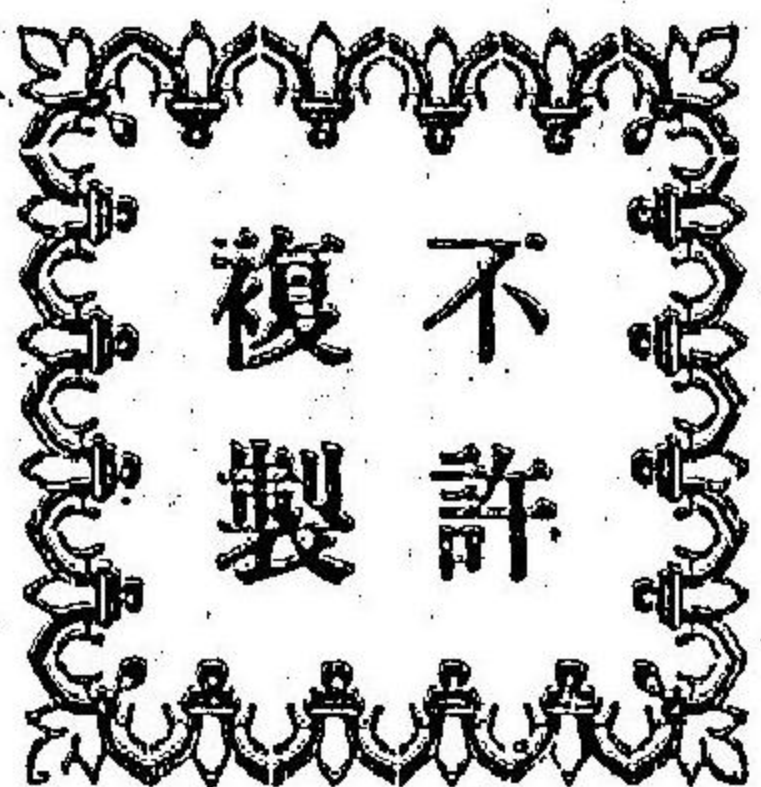
家畜内科類症鑑別

正價金參拾錢

著作者 金澤常勇

發行者 穴山篤太郎

印刷者 落合彌三



穴山篤太郎
東京市京橋區南傳馬町二丁目十三番地
 電話本局一〇五五番
 振替貯金口座六九六番

發行所 特約販賣所

東京市京橋區南傳馬町二丁目
大坂市南區心齋橋筋一丁目

書肆 有隣堂
書肆 文海堂

最近發行 ● 獸醫及畜產書類

獸醫學博士
津野慶太郎先生著

● 家畜保險論全一册

洋裝 正價七十五錢
美本 小包料 十錢

獸醫學士
原島善之助先生著

● 家畜診斷學外科篇

洋裝 正價壹圓八十錢
美本 小包料 十五錢

同 先生 著

● 家畜診斷學內科篇

洋裝 上卷貳圓 小包料十五錢
美本 下卷壹圓六十錢同十五錢

東京麻布獸醫學校講
師 米山理作先生著

● 獸醫調劑提要全一册

洋裝 正價五十五錢
假製 郵稅 六錢

農商務省御編纂

● 獸醫畜產法規全一册

袖珍 正價六十錢
至便 郵稅 四錢

岡山縣立農學校教諭
賀島政基先生著

● 養畜

學全一册

洋裝 正價壹圓
美本 小包料 十錢

獸醫學士
水原勝之助先生著

● 畜產學原理

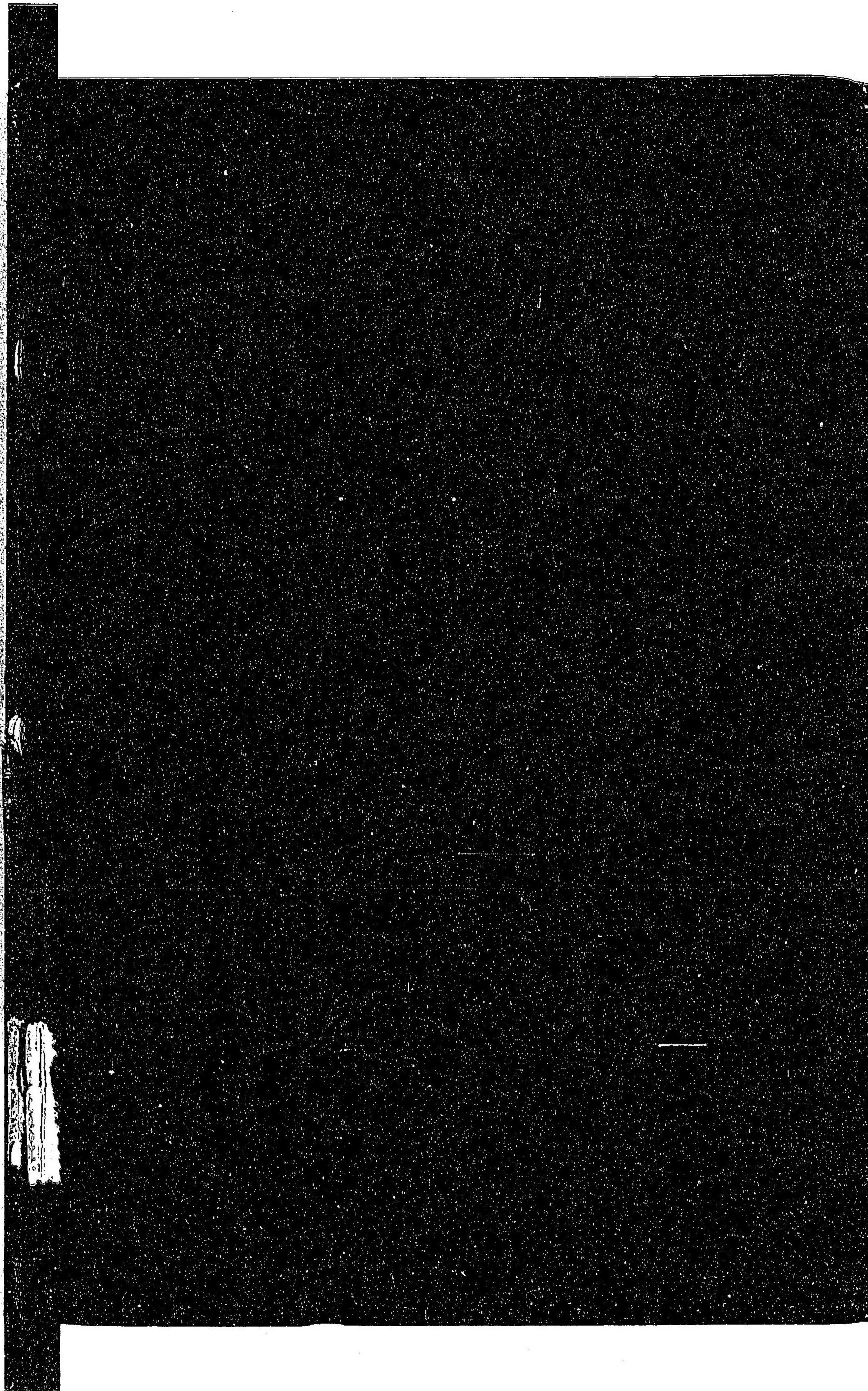
一名牧畜界之光明 全一册
洋裝 正價壹圓卅錢
美本 小包料 十錢

發行所

東京市京橋區
南傳馬町二丁目

有隣堂

穴山篤太郎



97
432

064690-000-1

97-432

家畜内科類症鑑別

金沢 常勇/著

M40

CCD-0129



